

データでみる福島市の健康 (令和5年度版)

目次

1.人口動態編

- ・人口推移
- ・人口ピラミッド
- ・出生数・率
- ・合計特殊出生率
- ・年齢3区分別人口
- ・平均寿命
- ・お達者度
- ・年齢階級別死亡数
- ・死因分類別死亡数
- ・標準化死亡比(SMR)

2. 特定健診編

- ・福島市国保特定健診受診率
- ・福島市国保特定健診メタボ予備群・該当者
- ・福島市国保特定健診有所見率(BMI・腹囲・LDL・HbA1c・収縮期
血圧)

3. がん検診(その他健診)編

- ・がん検診受診率
- ・精密検査受診状況

4. レセプト編

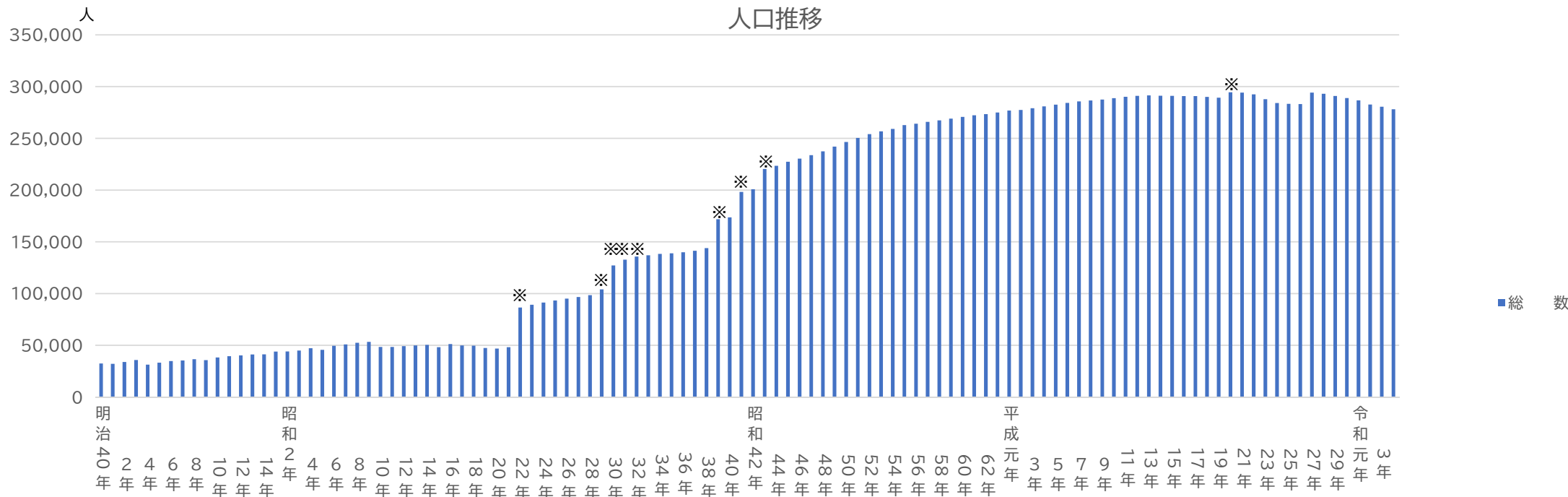
- ・医療費分類
- ・性別年齢別各疾病有病率

5. 介護保険編

- ・要介護認定率

1. 人口動態編

福島市の人口推移



資料 福島市推計人口、国勢調査

(注) ・大正12年以前は12月31日現在(ただし大正9年は10月1日現在)、昭和20年は11月1日現在、その他は毎年10月1日現在である。

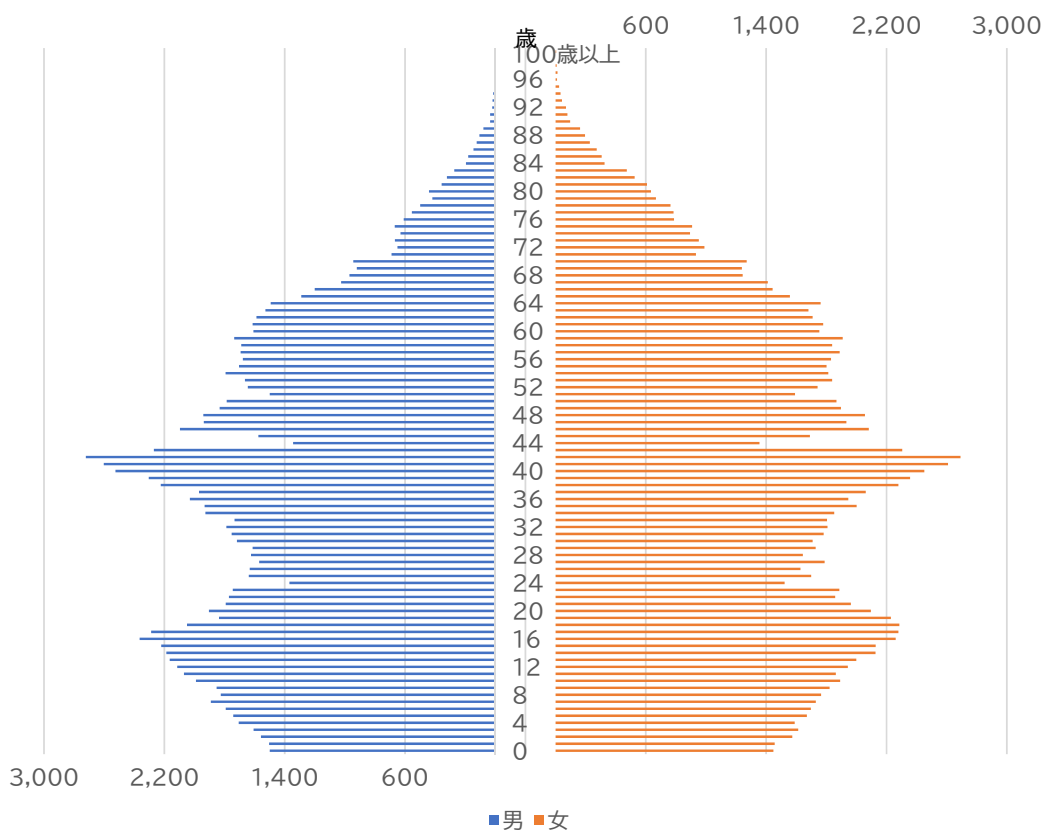
・※印は合併及び編入の行われた年である。

合併編入も含め市の人口は増加してきたが、平成13年をピークに合併を除くと、その後は減少傾向にある。
令和4年現在の人口は278,112人で平成2年頃の人口と同程度である。

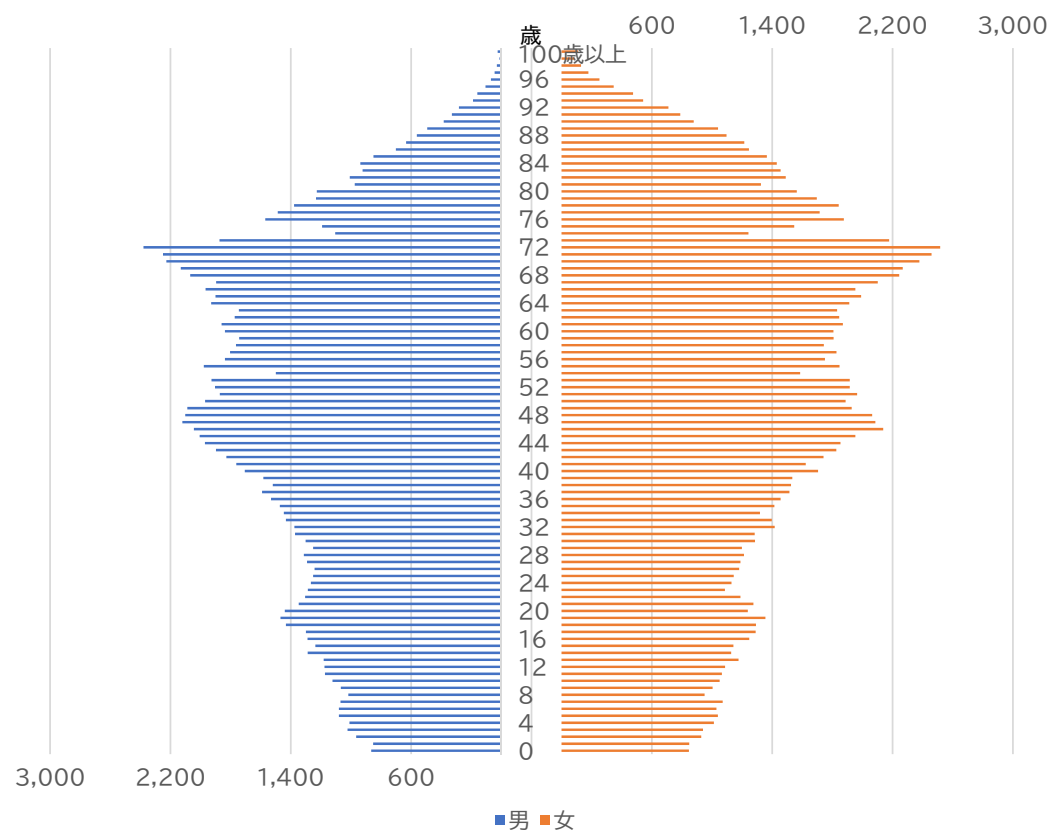
福島市の人口ピラミッド

令和5年度版

平成2年(1990)人口ピラミッド(人)



令和2年(2020)人口ピラミッド(人)

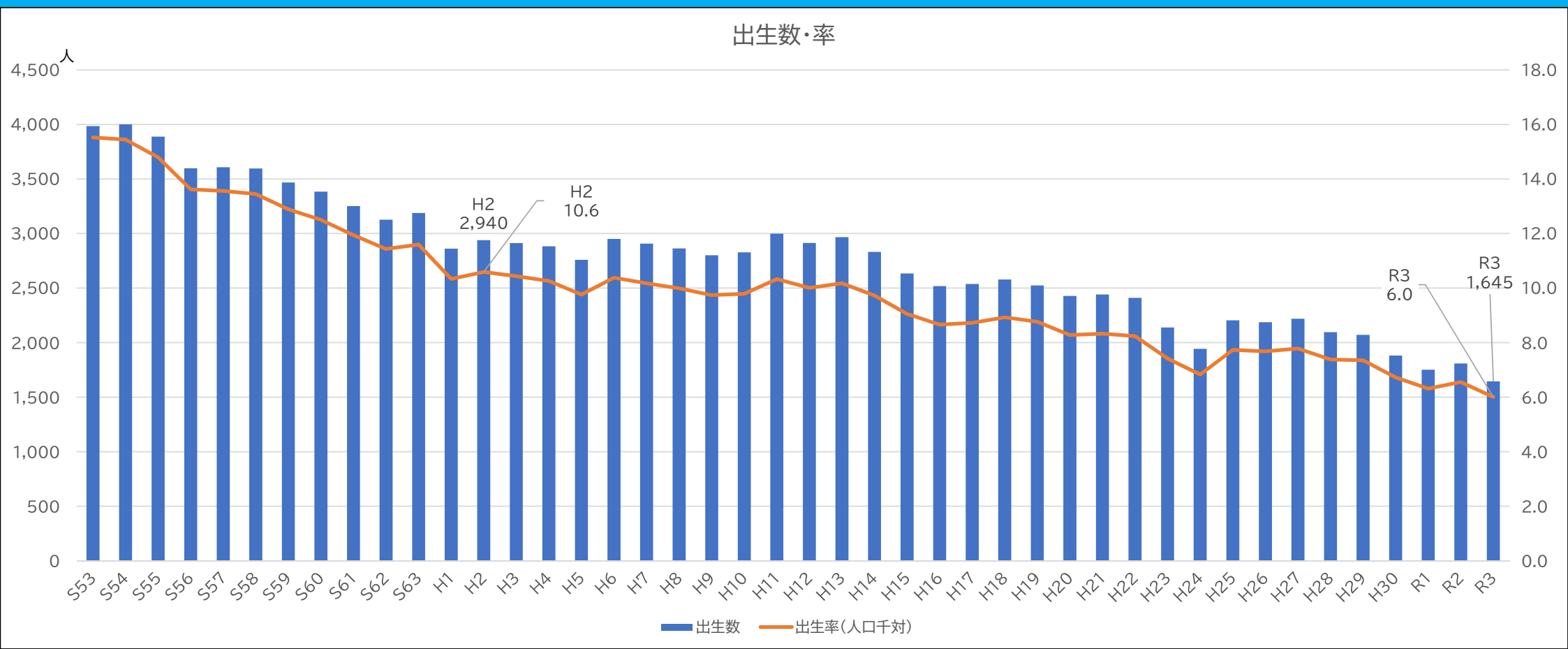


資料 国勢調査

年齢構成ではいわゆる団塊の世代(令和2年時点で71~73歳)が最も人口が多い。
平成2年の15歳(令和2年:45歳)から年齢が下がるにつれて人口が減少しており、出生数が平成2年には男女とも1400人前後のところ令和2年には男女ともに800人程度まで減少している。

福島市の出生数・率

令和5年度版

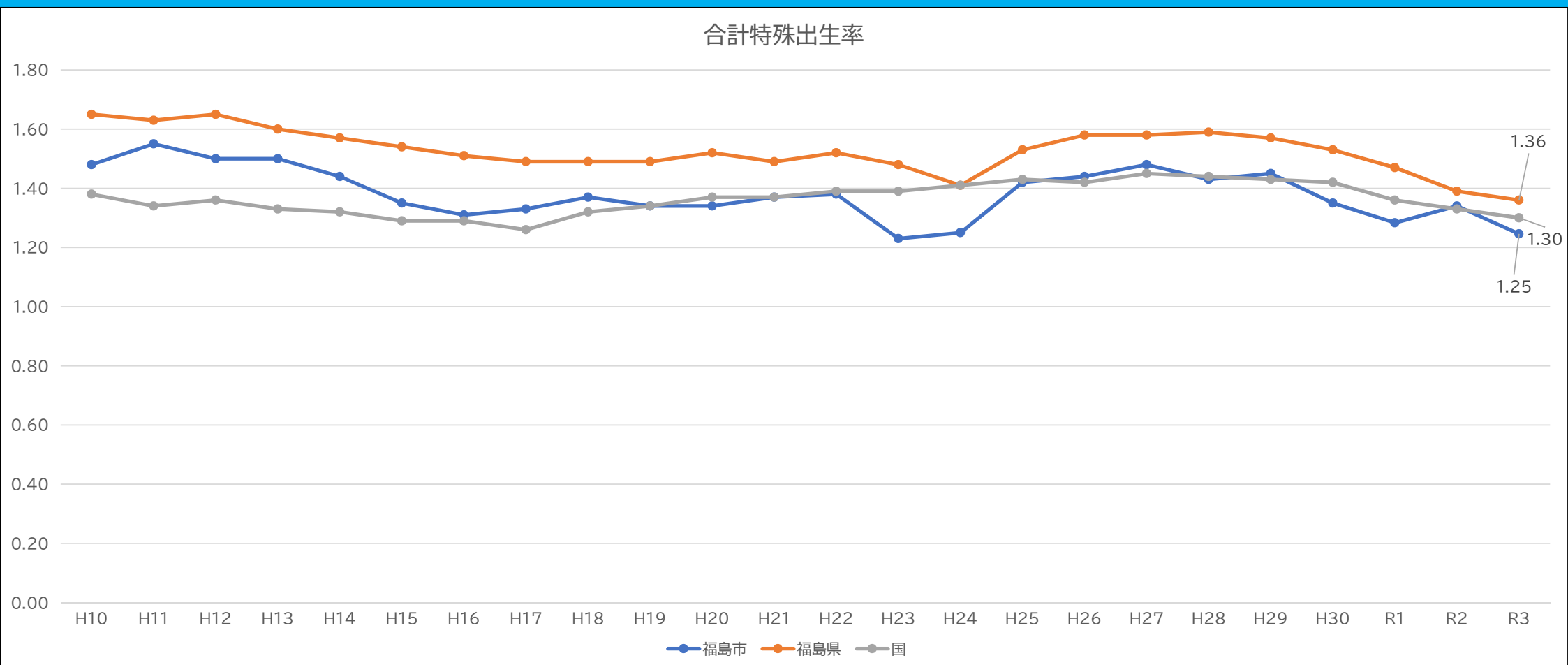


資料 人口動態調査票より市にて独自算出数使用

・出生数は年々減少しており、令和3年の出生数は1,645人、出生率は6.0と昭和53年以降最小

福島市の合計特殊出生率

令和5年度版

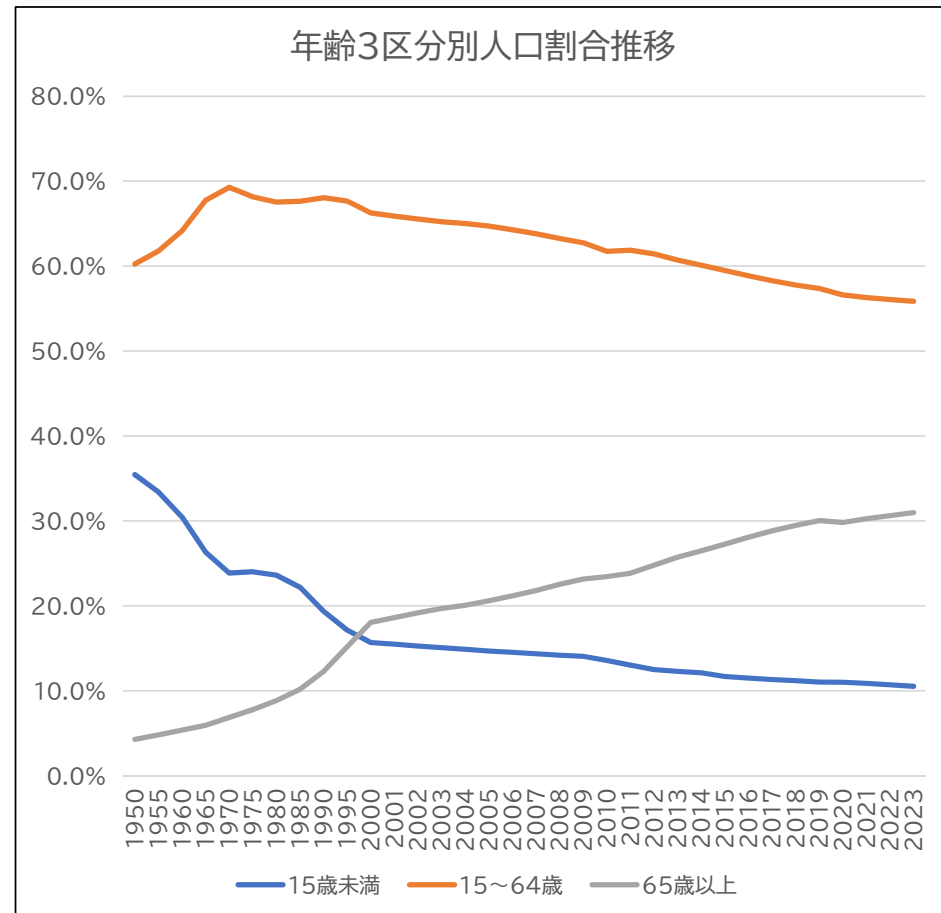
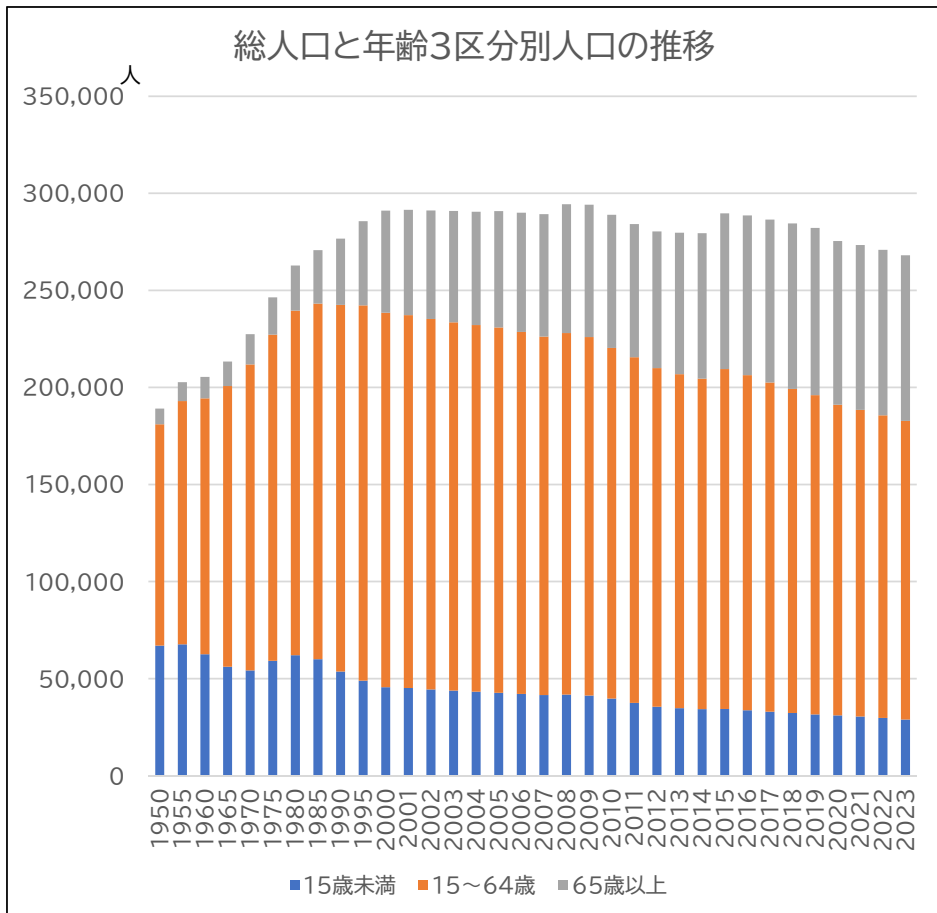


資料 市:人口動態調査票より市にて独自算出数使用
国/県:「人口動態統計(確定数)の概況」より

・令和3年の合計特殊出生率は1.25と、東日本大震災のあった平成23年に次ぐ低さであり、国や県よりも低い状況である。

福島市の年齢3区分別人口

令和5年度版



資料 国勢調査、福島県「福島県現住人口調査結果」

年少人口割合(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)は減少、老年人口割合(65歳以上)は増加し、少子高齢化が進んでいる。
令和4年 年少人口割合10.5%、生産年齢人口割合55.9%、老年人口割合31.0%

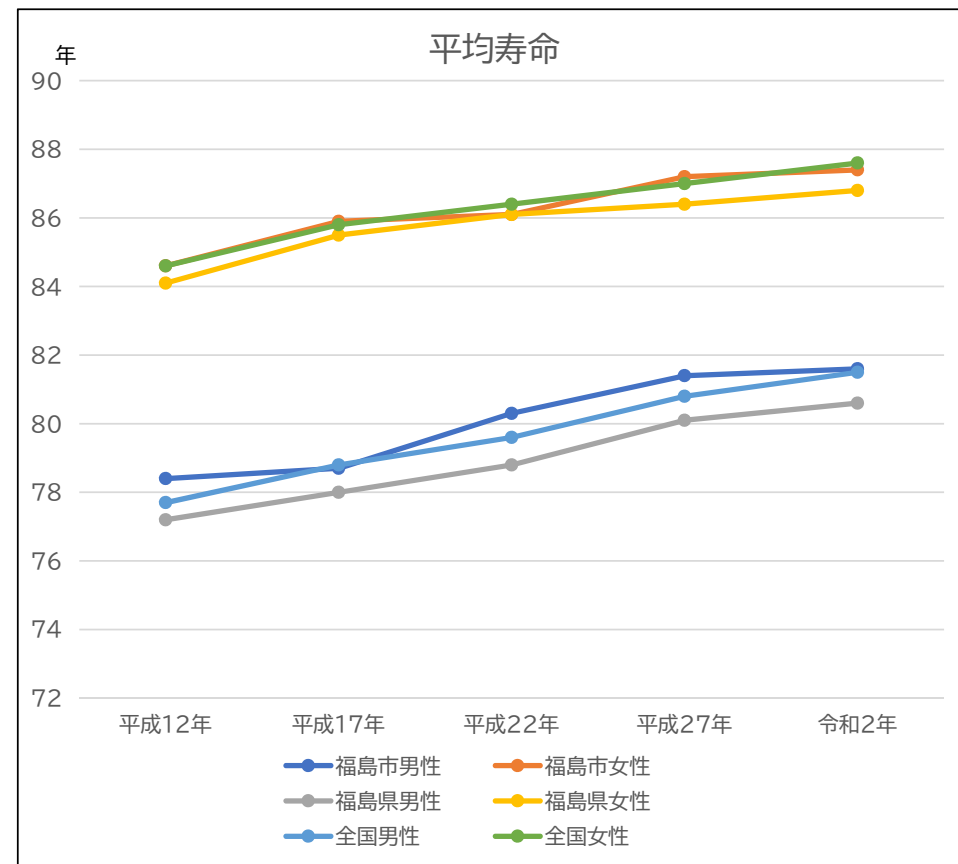
福島市の平均寿命

令和5年度版

単位:年

		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
福島市	男性	78.4	78.7	80.3	81.4	81.6
	女性	84.6	85.9	86.1	87.2	87.4
福島県	男性	77.2	78.0	78.8	80.1	80.6
	女性	84.1	85.5	86.1	86.4	86.8
全国	男性	77.7	78.8	79.6	80.8	81.5
	女性	84.6	85.8	86.4	87.0	87.6

資料:生命表



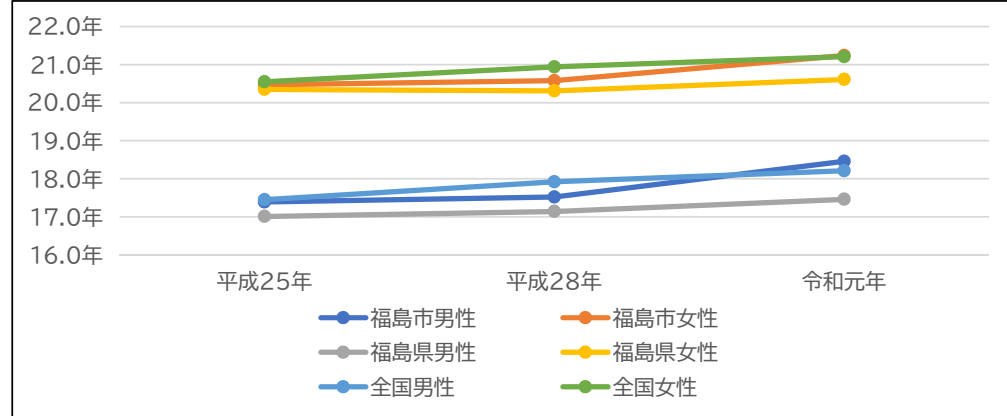
・令和2年の男性の平均寿命は81.6年、女性は87.4年で全国とほぼ同水準(全国 男性81.5年、女性87.6年)で県よりも長い(県 男性 80.6年、女性86.8年)。

福島市のお達者度

お達者度(65歳の平均自立期間)

単位:年

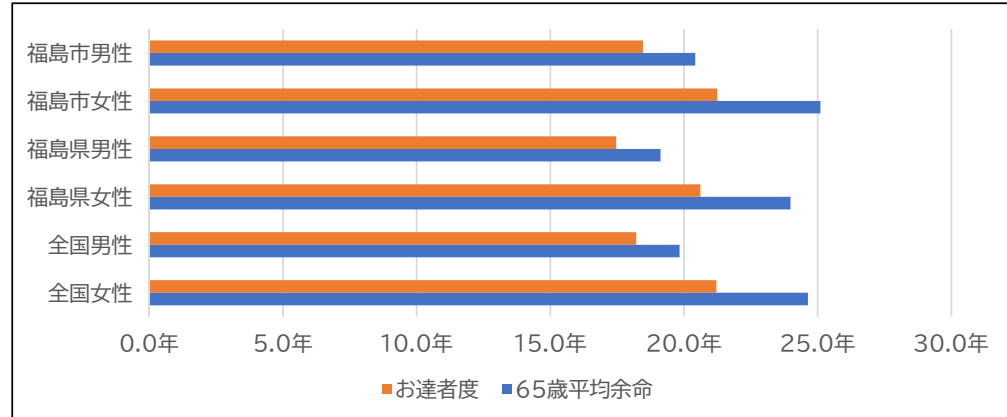
		平成25年 (2013)	平成28年 (2016)	令和元年 (2019)
福島市	男性	17.39	17.52	18.46
	女性	20.47	20.58	21.24
福島県	男性	17.01	17.14	17.46
	女性	20.35	20.31	20.61
全国	男性	17.45	17.92	18.21
	女性	20.55	20.94	21.21



2019年介護期間

単位:年

		65歳平均余命 (A)	お達者度 (B)	介護期間 (A)-(B)
福島市	男性	20.42	18.46	1.96
	女性	25.10	21.24	3.86
福島県	男性	19.12	17.46	1.66
	女性	23.98	20.61	3.37
全国	男性	19.83	18.21	1.62
	女性	24.63	21.21	3.42



資料 福島県市町村別「お達者度」の算定について

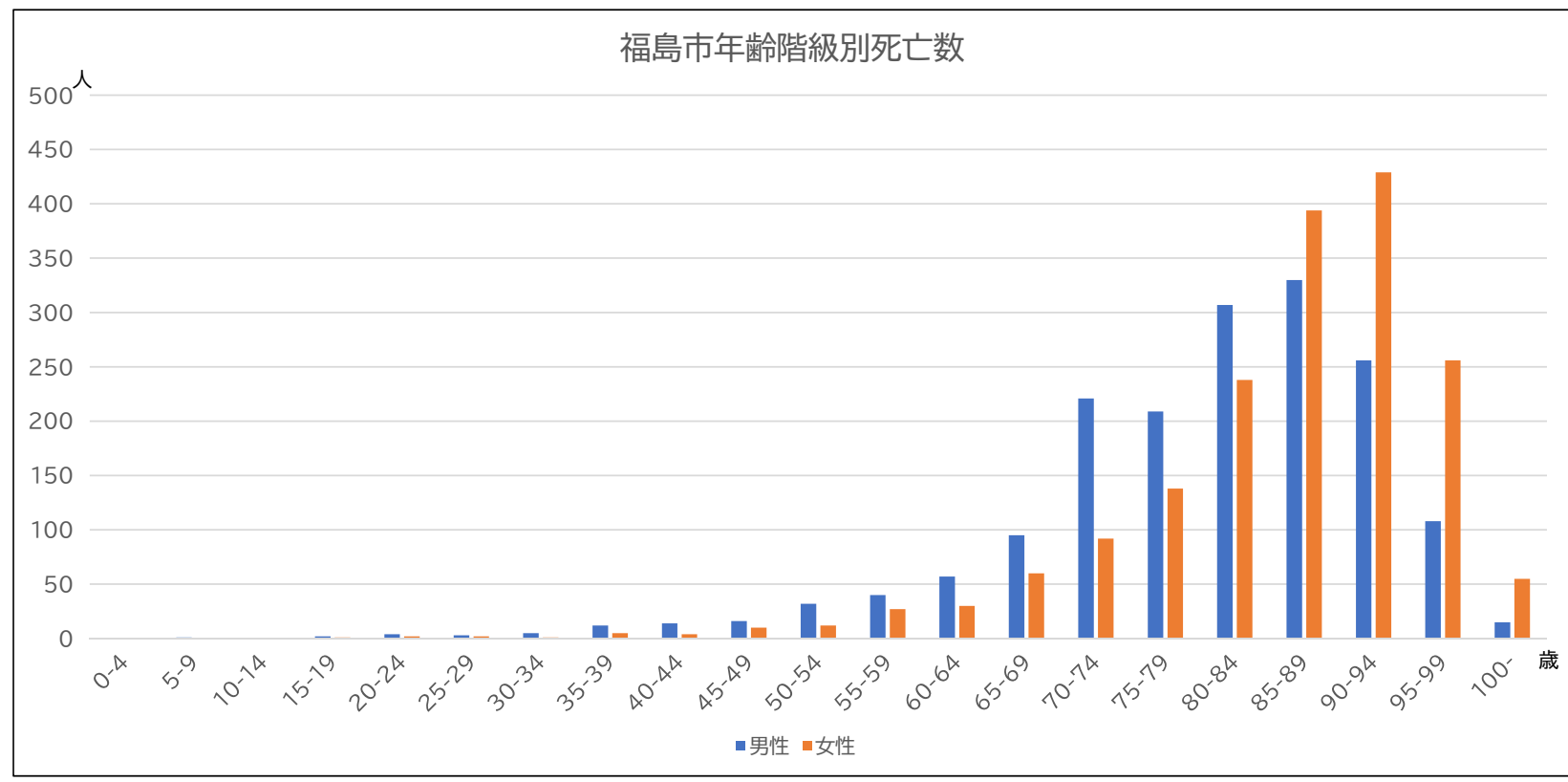
- ・2013年～2019年にかけて男女ともお達者度の延伸が認められ、特に市の男性は1年を超える延伸であった。
- ・男女ともどの年においても福島県を上回っている。
- ・男性の介護期間は1.96年、女性は3.86年と、国や県よりも長い。

福島市の年齢階級別死亡数

令和5年度版

令和3年 単位:人

年齢	男性	女性	男女
0-4	0	0	0
5-9	1	0	1
10-14	0	0	0
15-19	2	1	3
20-24	4	2	6
25-29	3	2	5
30-34	5	1	6
35-39	12	5	17
40-44	14	4	18
45-49	16	10	26
50-54	32	12	44
55-59	40	27	67
60-64	57	30	87
65-69	95	60	155
70-74	221	92	313
75-79	209	138	347
80-84	307	238	545
85-89	330	394	724
90-94	256	429	685
95-99	108	256	364
100-	15	55	70



・死亡者数について男性は80代後半、女性は90代前半がピークとなっている。

資料 人口動態調査票より市にて独自に算出

福島市の死因分類別死亡数

令和3年死因分類別死亡数

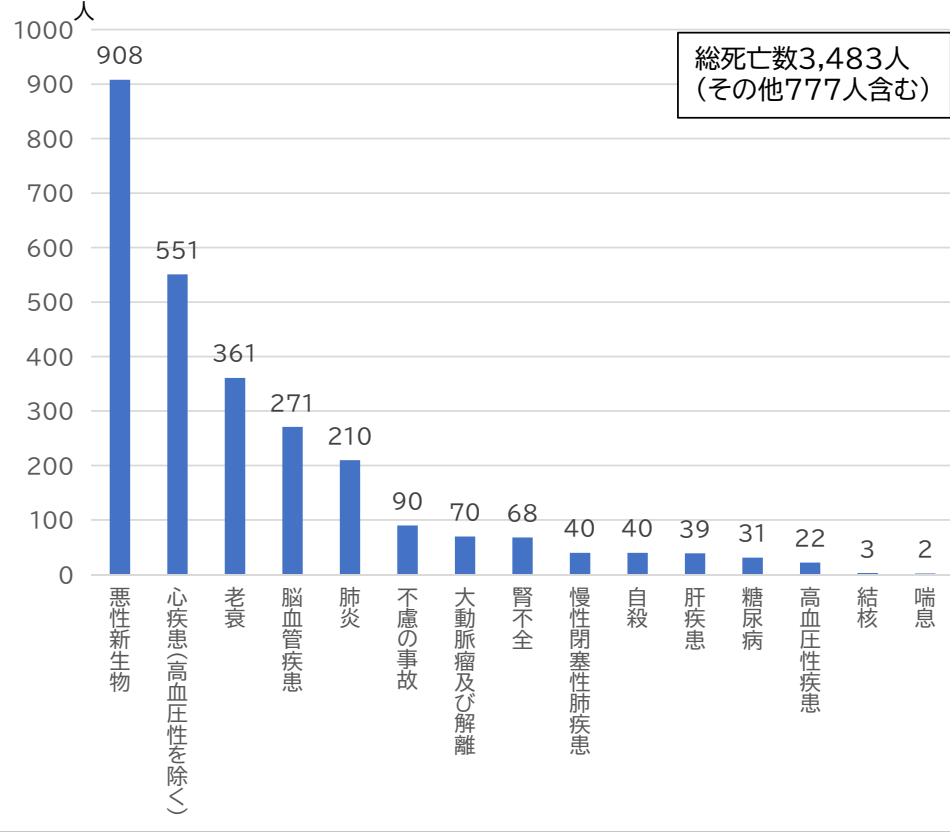


表 世代別 死因順位・死亡数・死亡原因に占める割合 男女

※その他を除く

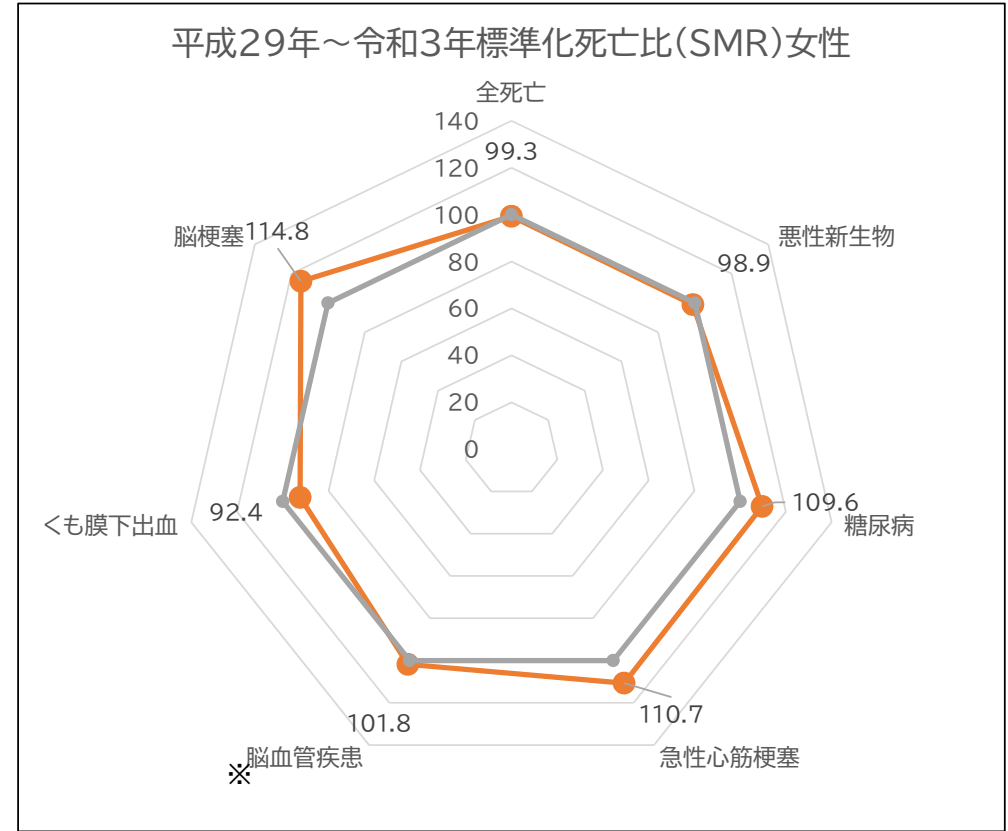
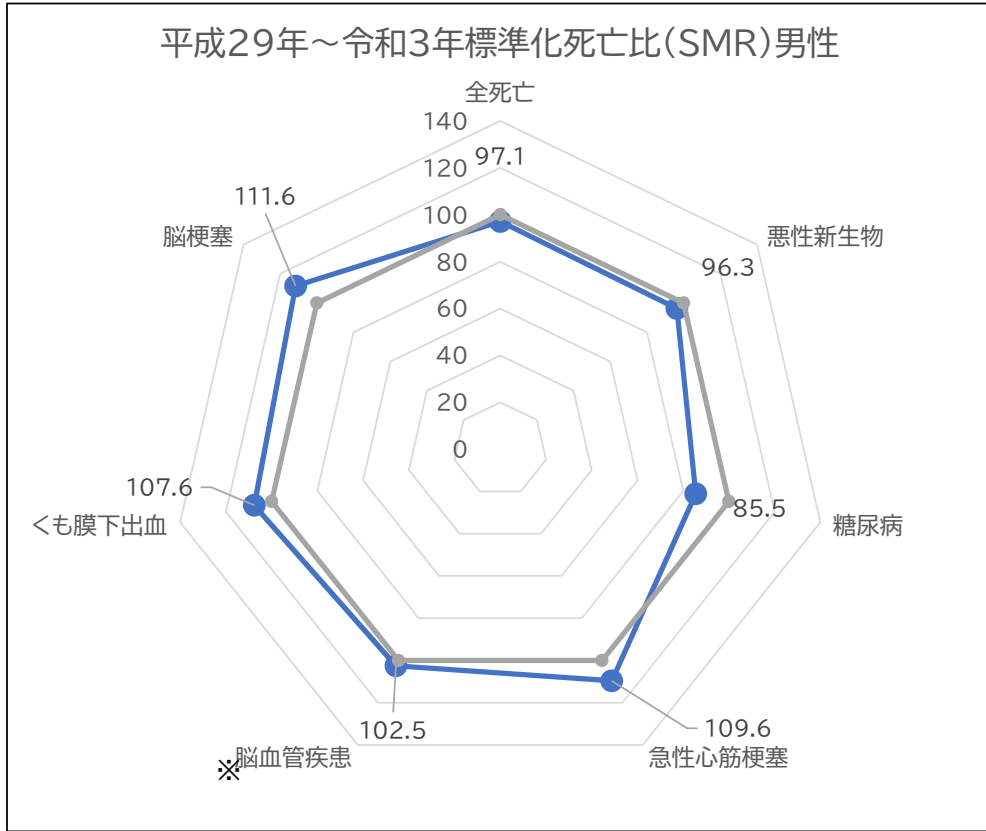
		0~39歳		40~64歳		65歳~		全世代	
第1位	死因	自殺		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物	
	死亡数 割合	18	47.4%	106	43.8%	793	24.8%	908	26.1%
第2位	死因	悪性新生物		心疾患(高血圧性を除く)		心疾患(高血圧性を除く)		心疾患(高血圧性を除く)	
	死亡数 割合	9	23.7%	27	11.2%	522	16.3%	551	15.8%
第3位	死因	大動脈瘤及びび解離		自殺		老衰		老衰	
	死亡数 割合	2	5.3%	16	6.6%	361	11.3%	361	10.4%
第4位	死因	不慮の事故		脳血管疾患		脳血管疾患		脳血管疾患	
	死亡数 割合	2	5.3%	15	6.2%	255	8.0%	271	7.8%
第5位	死因	心疾患(高血圧性を除く)		肝疾患		肺炎		肺炎	
	死亡数 割合	2	5.3%	11	4.5%	209	6.5%	210	6.0%

資料 人口動態調査票より選択死因分類別死亡数を市にて独自算出

令和3年の死因のうち、1位は悪性新生物(26.1%)、2位は心疾患(高血圧性を除く)(15.8%)、3位は老衰(10.4%)
40~64歳では「悪性新生物」「心疾患」「脳血管疾患」を生活習慣病関連死因とみると61.2%で6割を超えている。
全世代でも同様に計算すると49.7%とおよそ2人に1人が該当する。

福島市の標準化死亡比(SMR)

SMR・・・全国を基準(=100)とした場合に、その地域での年齢を調整したうえでの死亡率(死亡の起こりやすさ)がどの程度高い(低い)のかを表現したもの。



資料 人口動態調査票及び推計人口より市にて独自算出

※ くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他合算

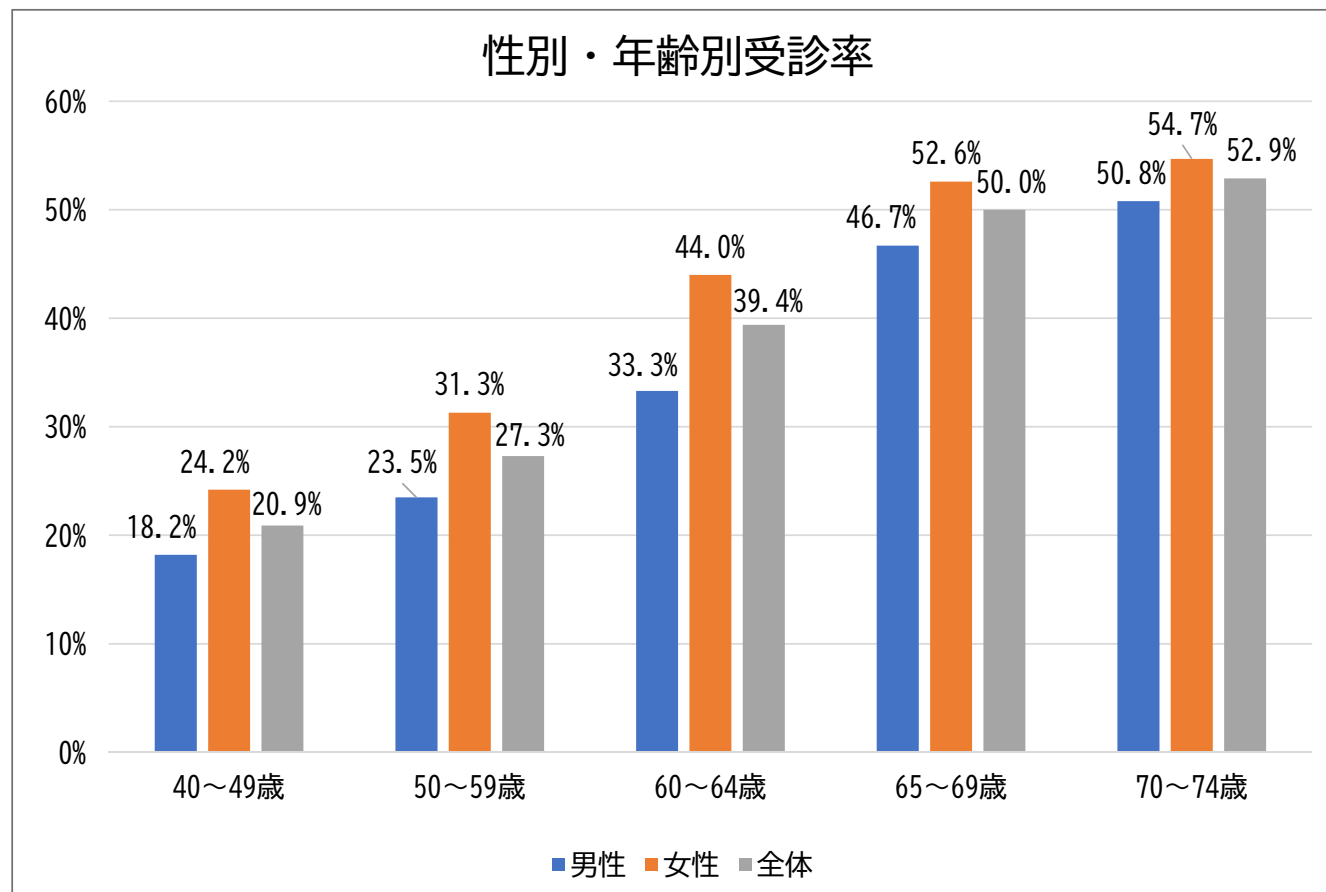
急性心筋梗塞と脳血管疾患、脳梗塞は男女とも全国より高い。
 糖尿病は男性が全国より低く、女性は全国より高い。
 逆にくも膜下出血は男性が全国より高く、女性は全国より低い

2. 特定健診編

福島市国保特定健診受診率

令和5年度版

令和4年度国保特定健診受診率 44.0%



- ・ 受診率の目標値である60%には達していない。
- ・ 男女ともに年齢が上がるにつれて、受診率が高くなっている。
- ・ 男性と女性では、男性の方が受診率が低い。
- ・ 特に40~50代の若い年齢ほど受診率が低い。

※特定健診結果総括表（令和4年度）

福島市国保特定健診メタボ予備群・該当者

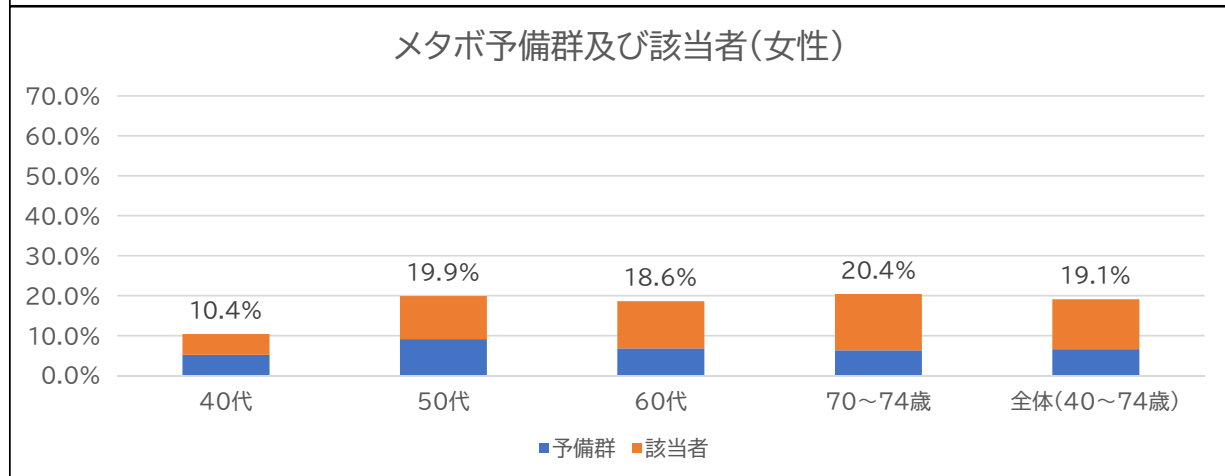
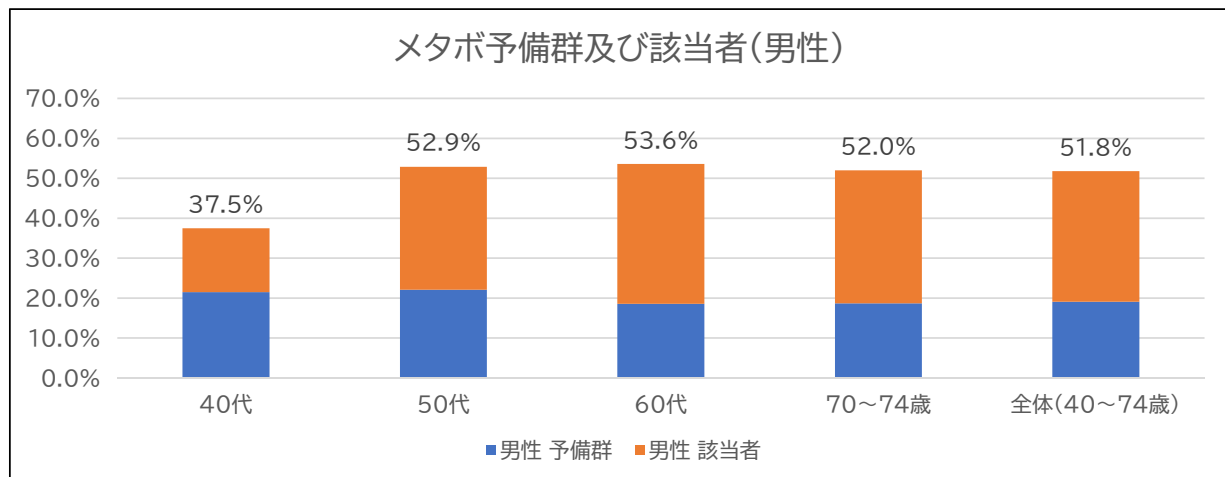
令和5年度版

男性

	予備群	該当者
40代	21.5%	16.0%
50代	22.1%	30.8%
60代	18.6%	35.0%
70～74歳	18.7%	33.3%
全体(40～74歳)	19.1%	32.7%

女性

	予備群	該当者
40代	5.2%	5.2%
50代	9.1%	10.8%
60代	6.8%	11.8%
70～74歳	6.3%	14.1%
全体(40～74歳)	6.6%	12.5%



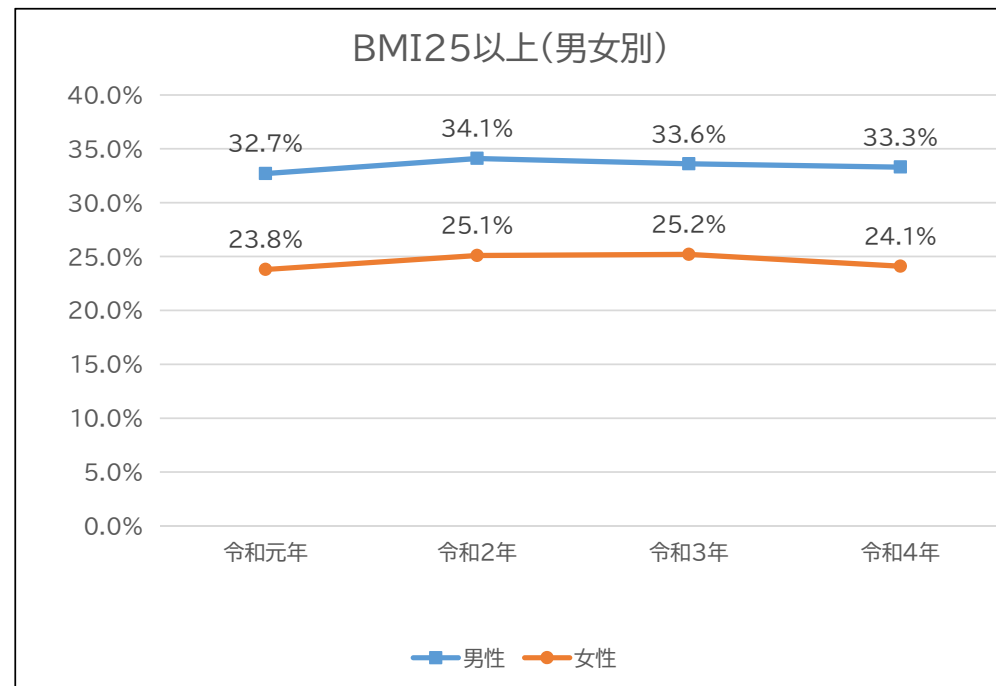
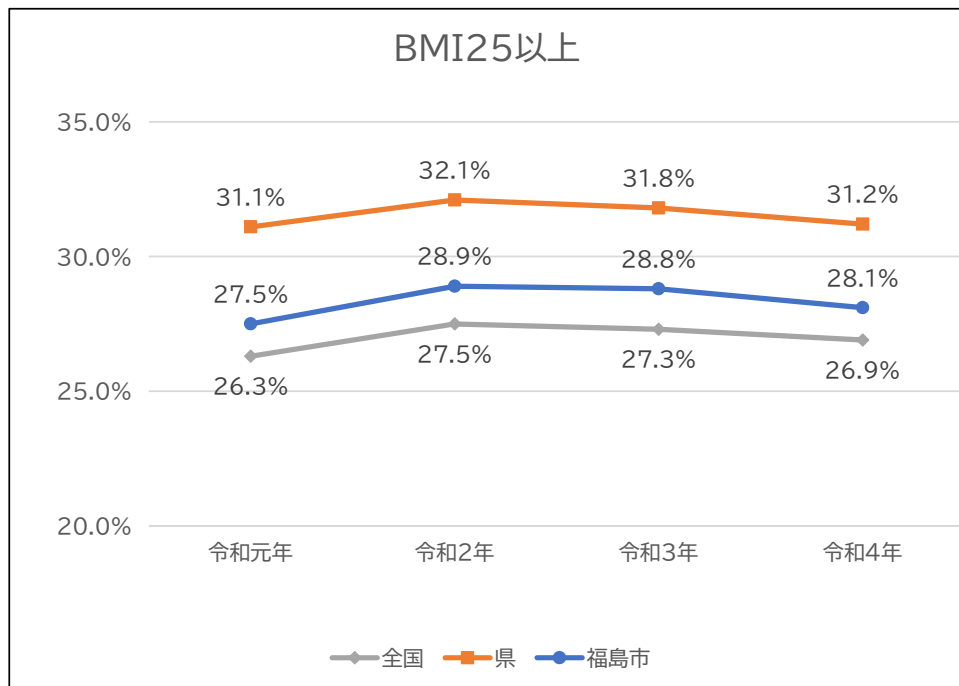
資料 KDB

すべての年代において予備群及び該当者ともに男性が女性を上回っている。
男女ともに40代から50代にかけて該当者の割合が大きく増加している。

福島市国保特定健診 有所見率 BMI

令和5年度版

BMI25以上

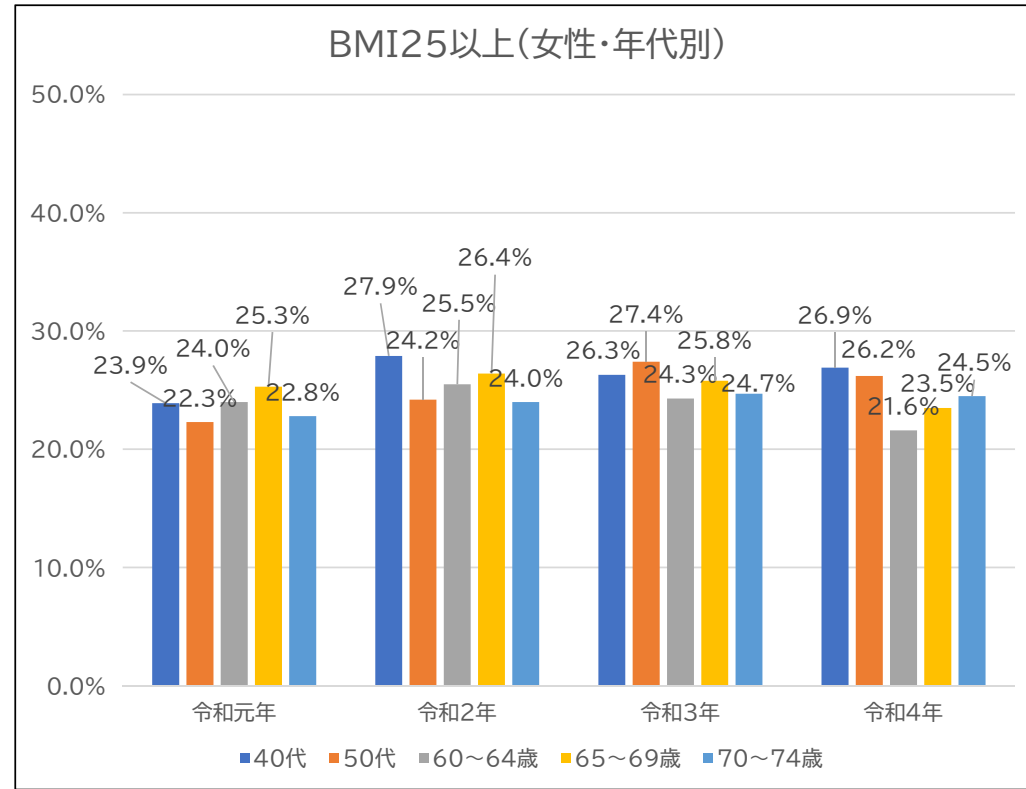
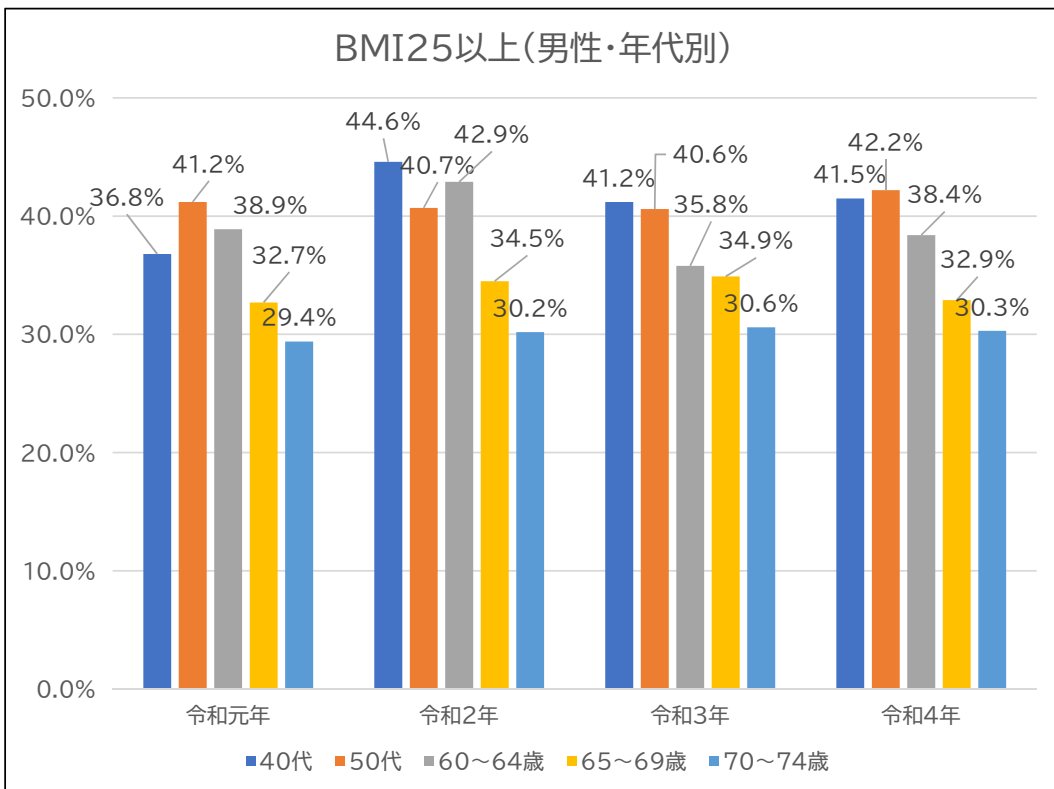


- ・令和元年から令和4年でBMI25以上の人の割合が全国と比べると高く、県より低い。
- ・福島市では継続してBMI25以上の人の割合が女性よりも9ポイントほど男性の方が高い。

福島市国保特定健診 有所見率 BMI

令和5年度版

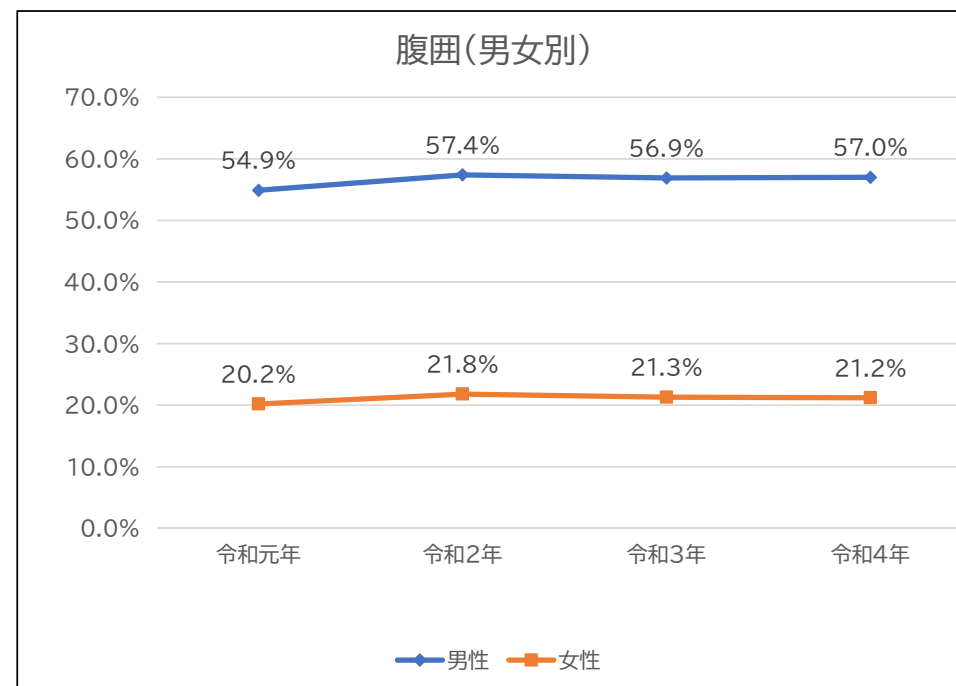
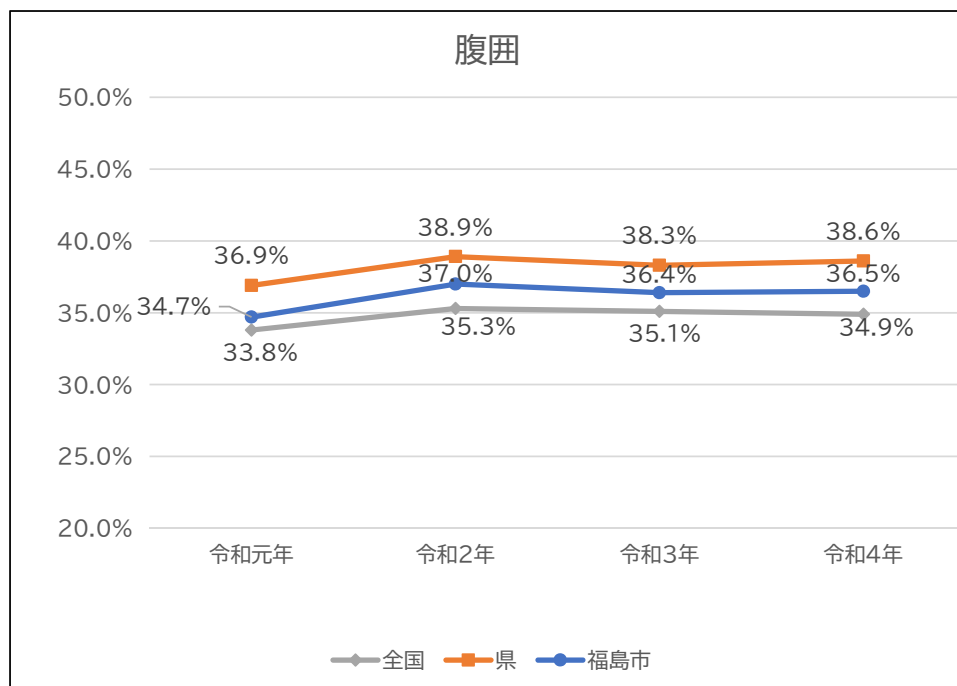
BMI25以上



・男性は60代以降でBMI25以上の人の割合が低下していく傾向にある。
・女性は40代以降年代問わずBMI25以上の人の割合が同程度である。

福島市国保特定健診 有所見率 腹囲

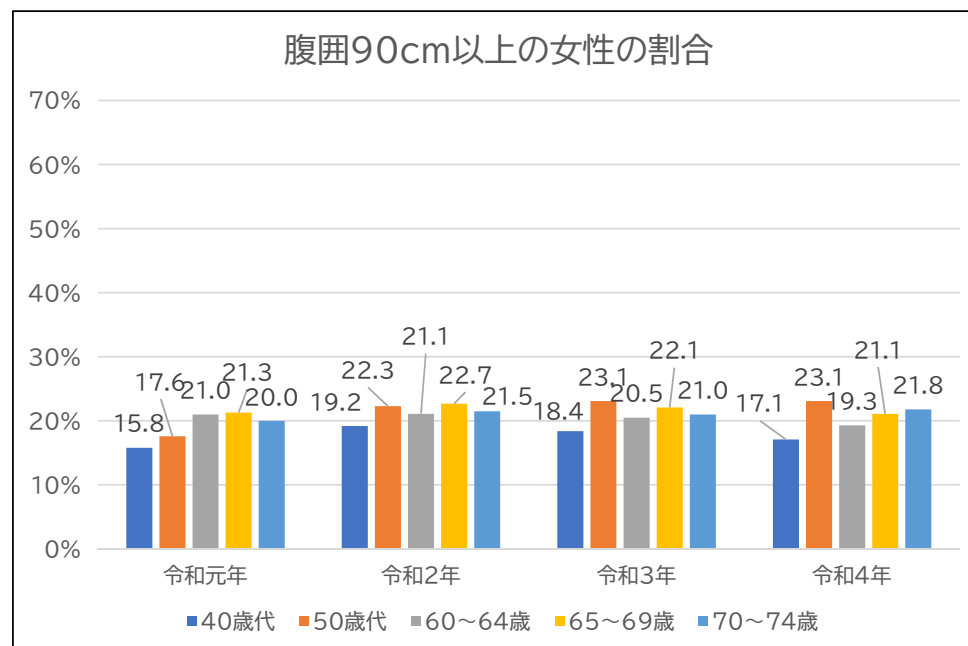
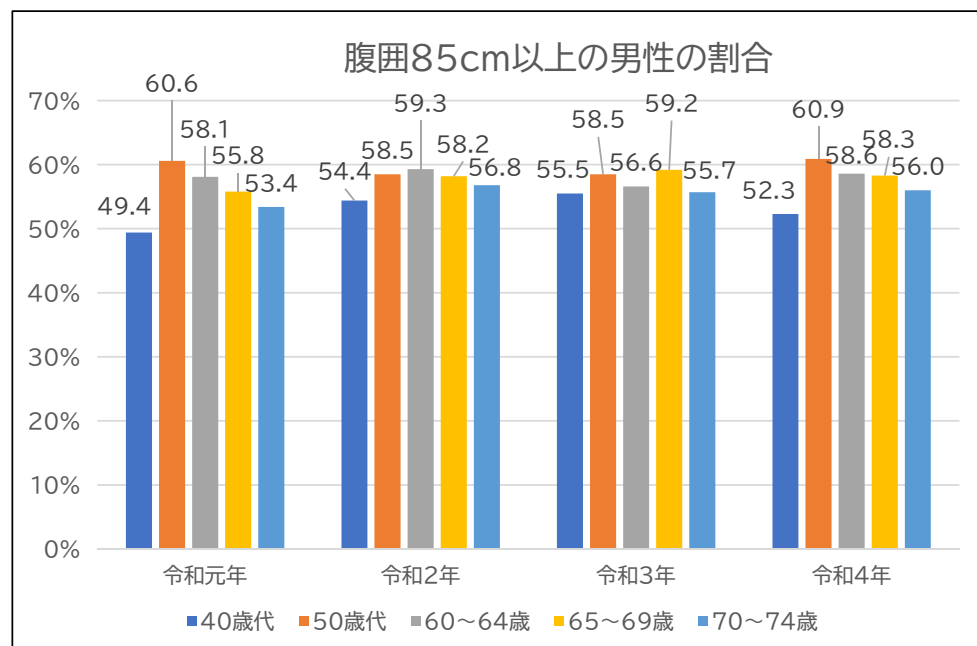
腹囲基準値（男性85cm、女性90cm）以上



- ・令和元年から令和4年で継続して基準値以上の人の割合が全国と比べると高く、県より低い。
- ・福島市では継続して基準値以上の人の割合が女性よりも35%ほど男性の方が高い。(男女差が顕著)

福島市国保特定健診 有所見率 腹囲

腹囲基準値（男性85cm、女性90cm）以上

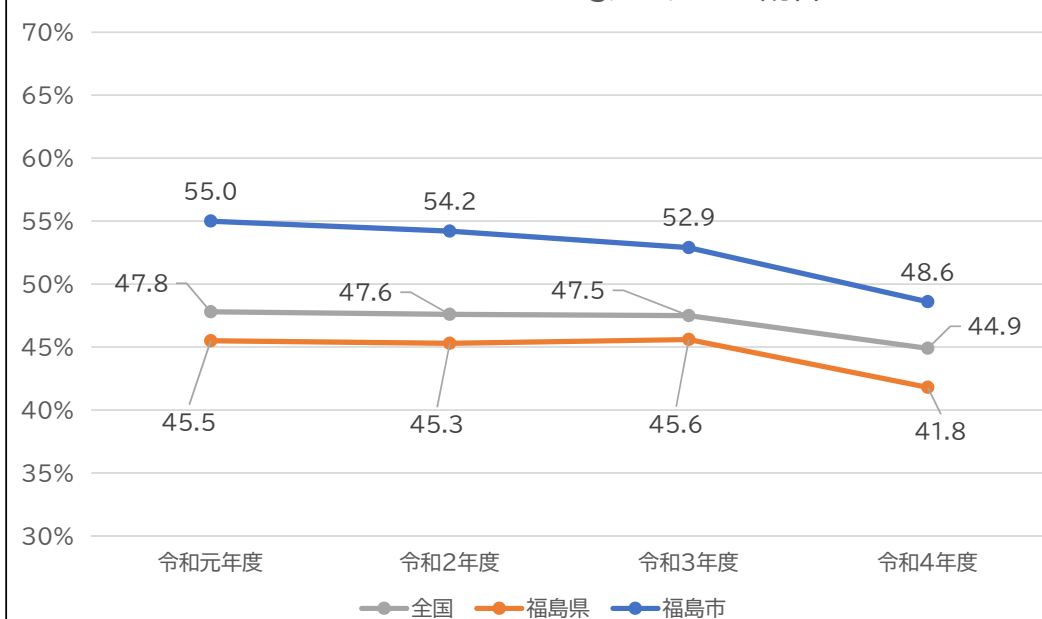


- ・男女ともに基準値以上の人の割合は40歳代が最も低い。
- ・男女とも概ね40代から50代にかけての割合の増加が大きい。
- ・男性は60代から70代にかけて基準値以上の人の割合が低下する傾向にある。

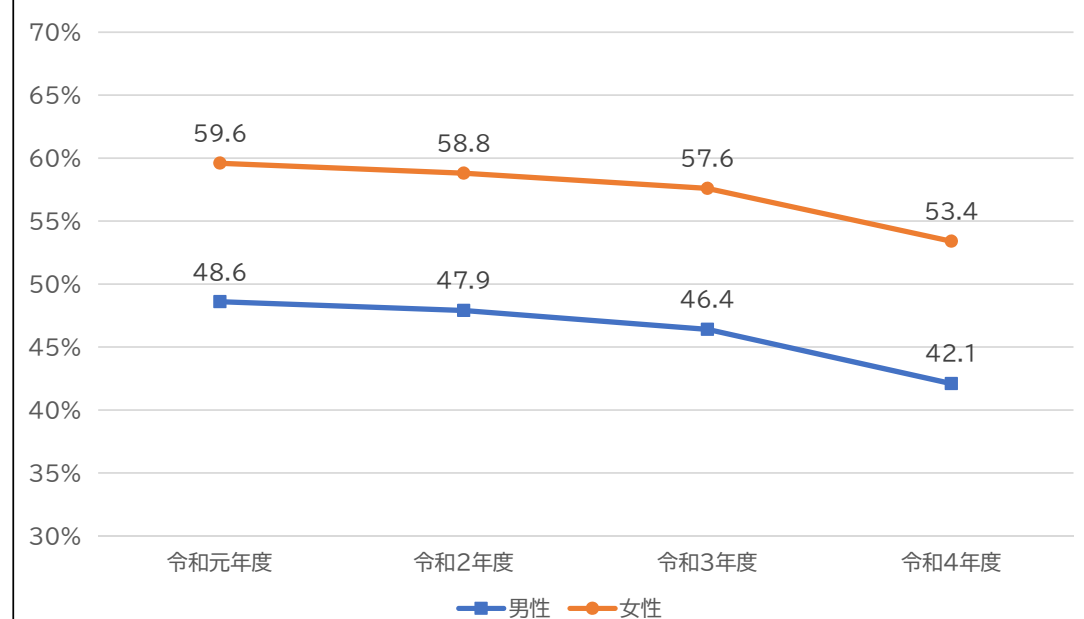
福島市国保特定健診 有所見率 LDLコレステロール

LDLコレステロール120mg/dl以上

LDLコレステロール120mg/dl以上の割合



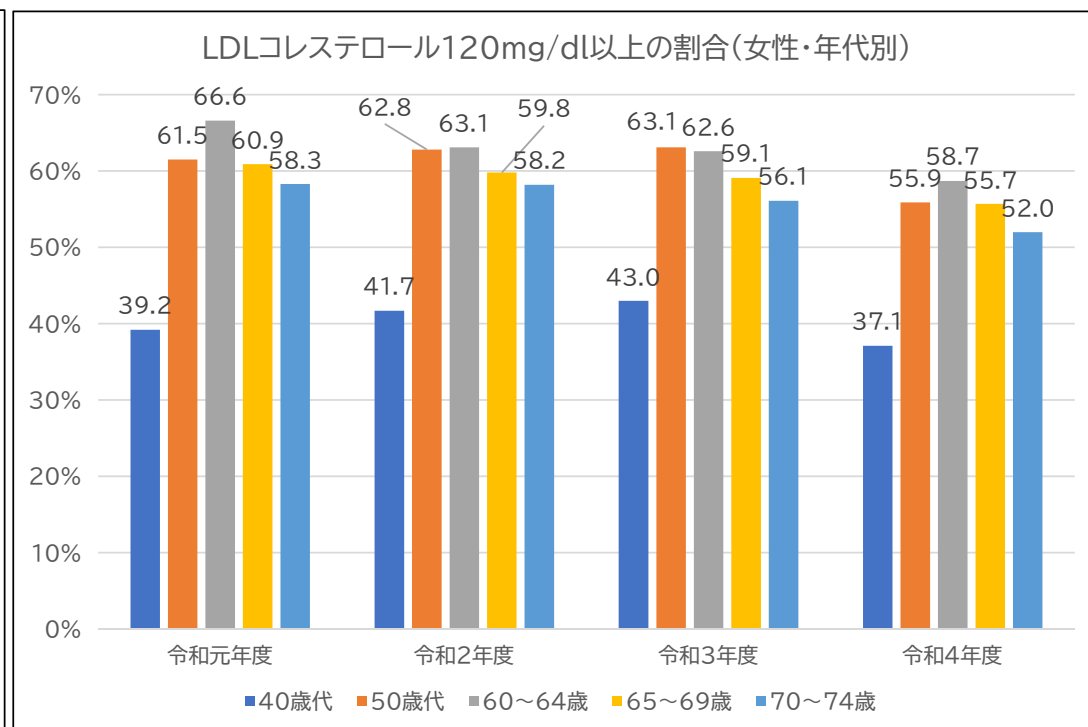
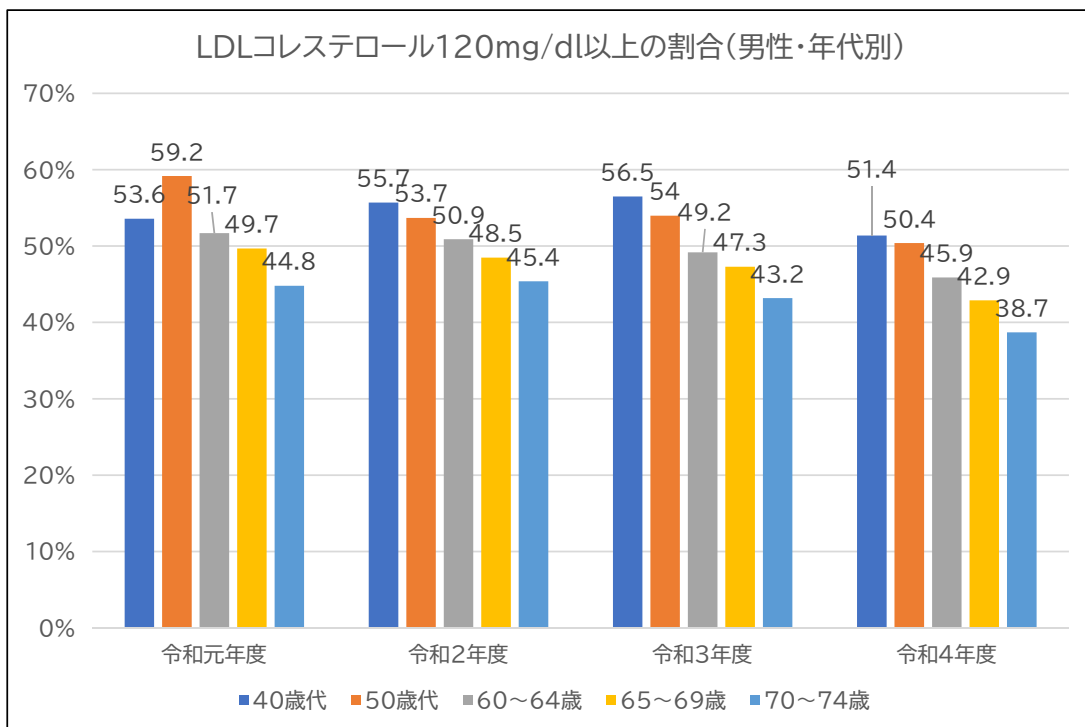
LDLコレステロール120mg/dl以上の割合(男女)



- ・福島市は継続して福島県や全国と比べるとLDLコレステロール120mg/dl以上の人の割合が高い
- ・福島県、全国ともに120mg/dl以上の方の割合が減少傾向にあるが、福島市は令和元年度から令和4年度にかけて約7%も減少しており減少幅が一番大きい
- ・男女ともに年々、120mg/dl以上の人の割合が減少傾向にある
- ・男性より女性の方が継続してLDLコレステロール120mg/dl以上の人の割合が高い

福島市国保特定健診 有所見率 LDLコレステロール

LDLコレステロール120mg/dl以上

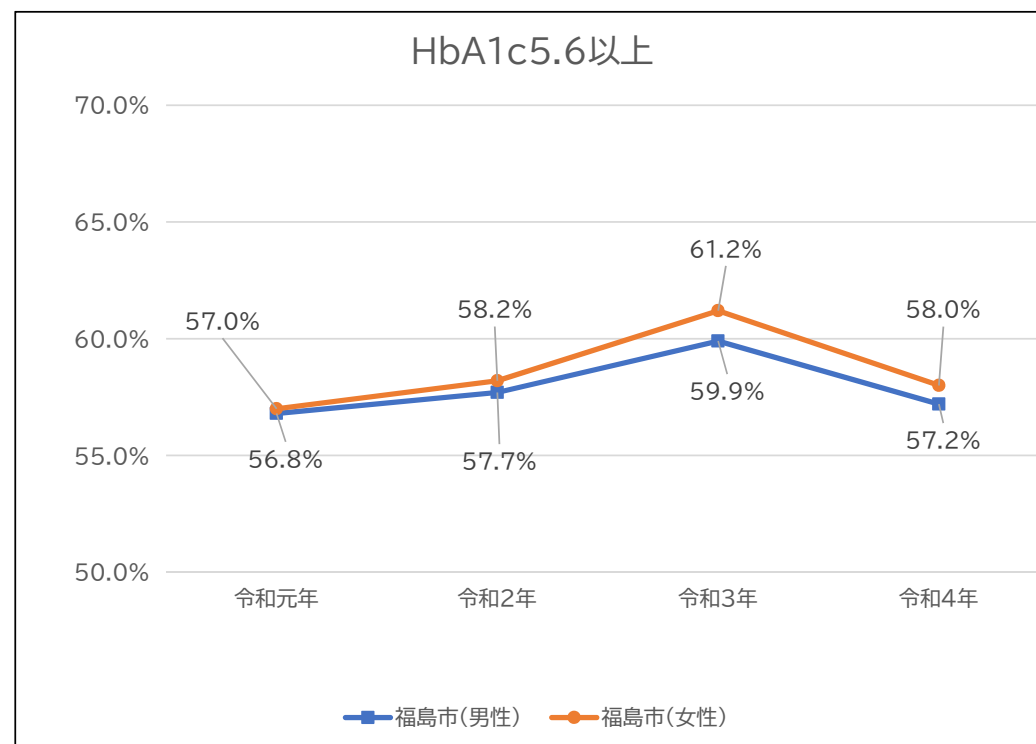
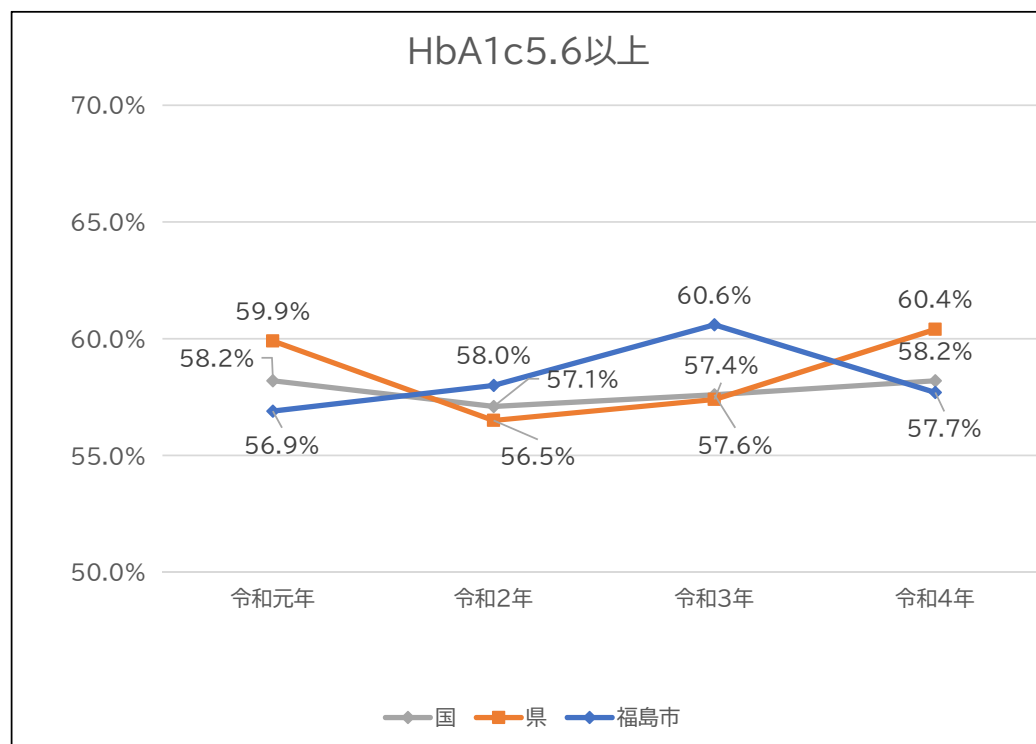


- ・男性は年代が上がるにつれLDLコレステロール120mg/dl以上の割合が減少する
- ・女性の40代から50代にかけてLDLコレステロール120mg/dl以上の人の割合が急増する

福島市国保特定健診 有所見率 HbA1c

HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)…糖尿病の指標の一つ。過去1～2ヶ月間の血糖値の平均状態がわかる。

HbA1c5.6%以上



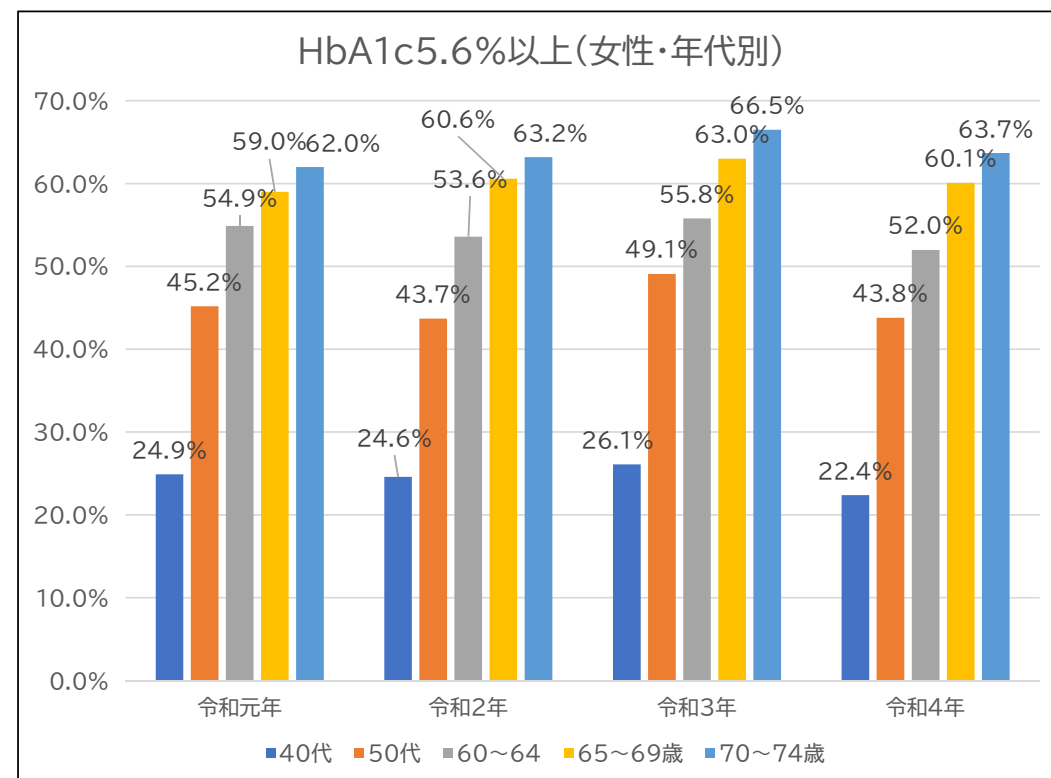
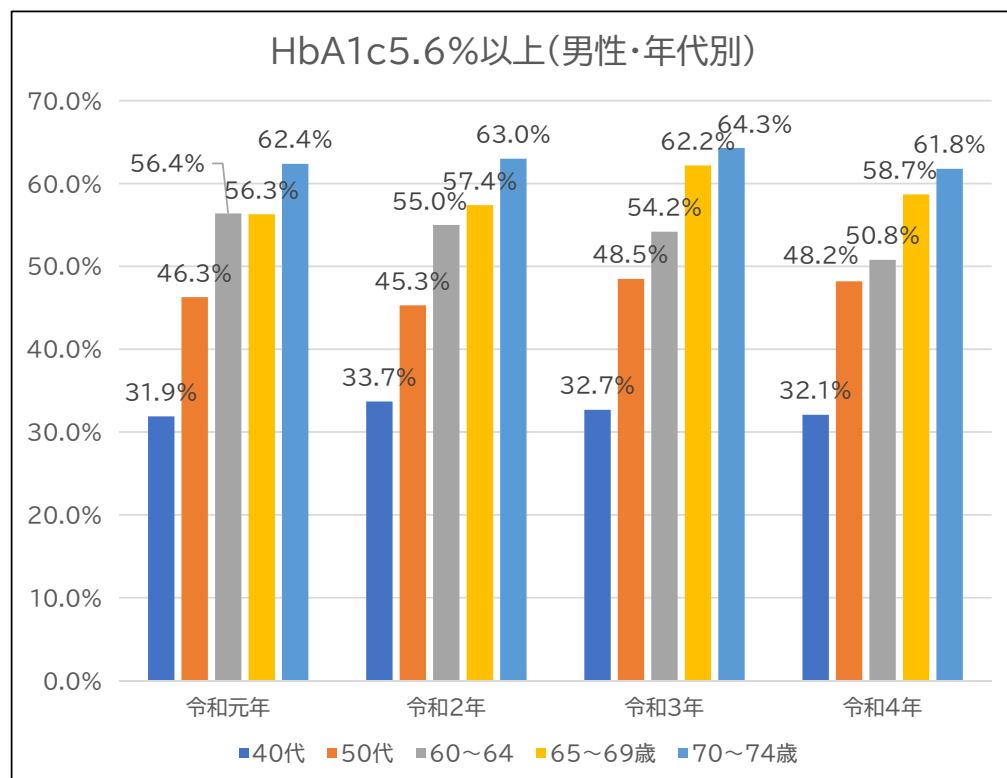
- ・福島市は令和元年から令和3年にかけて血糖の有所見者の割合は増加したが、令和4年は低下した。
- ・男女差はほとんどない。(2ポイント以内)

福島市国保特定健診 有所見率 HbA1c

令和5年度版

HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)…糖尿病の指標の一つ。過去1~2ヶ月間の血糖値の平均状態がわかる。

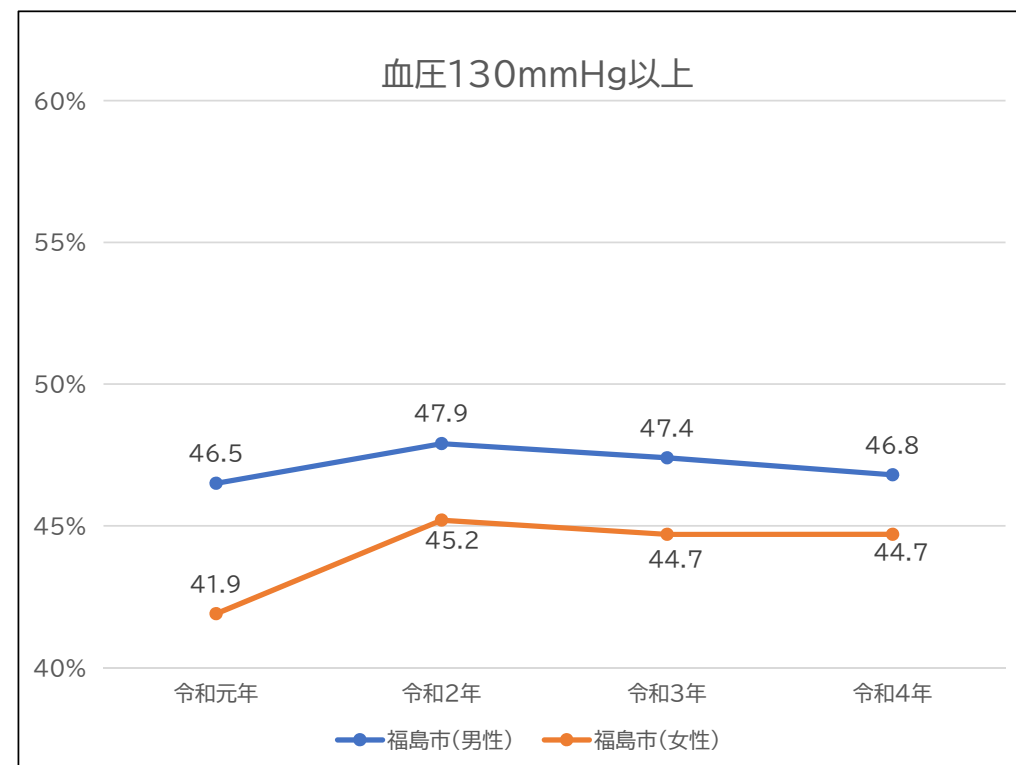
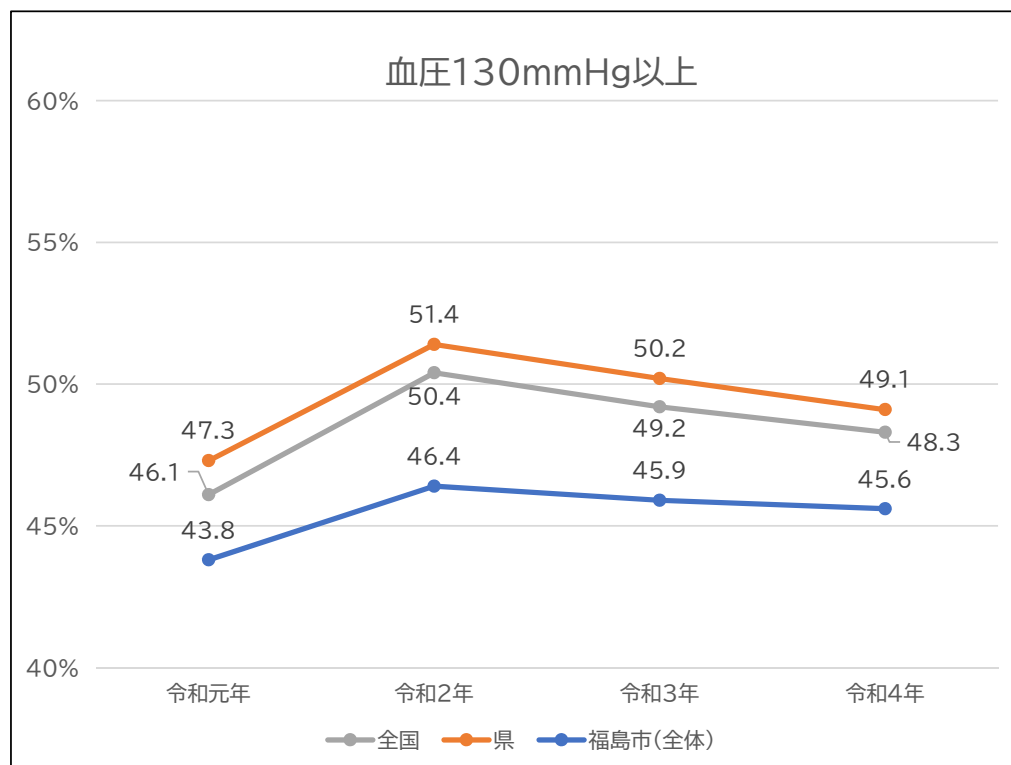
HbA1c5.6%以上



- ・男女共に年代があがるにつれて有所見者の割合が上昇している。
- ・有所見者の割合は50代以降の年代では大きな男女の差は見られなかった。
- ・男女とも40代から50代にかけての割合の増加が大きい。

福島市国保特定健診 有所見率 収縮期血圧

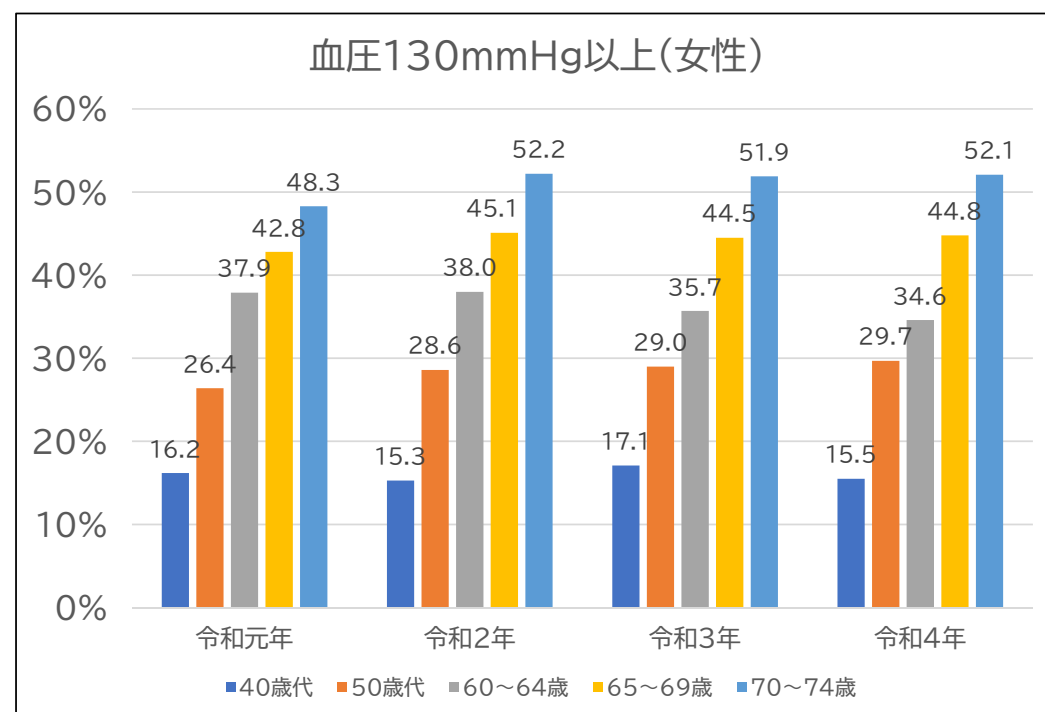
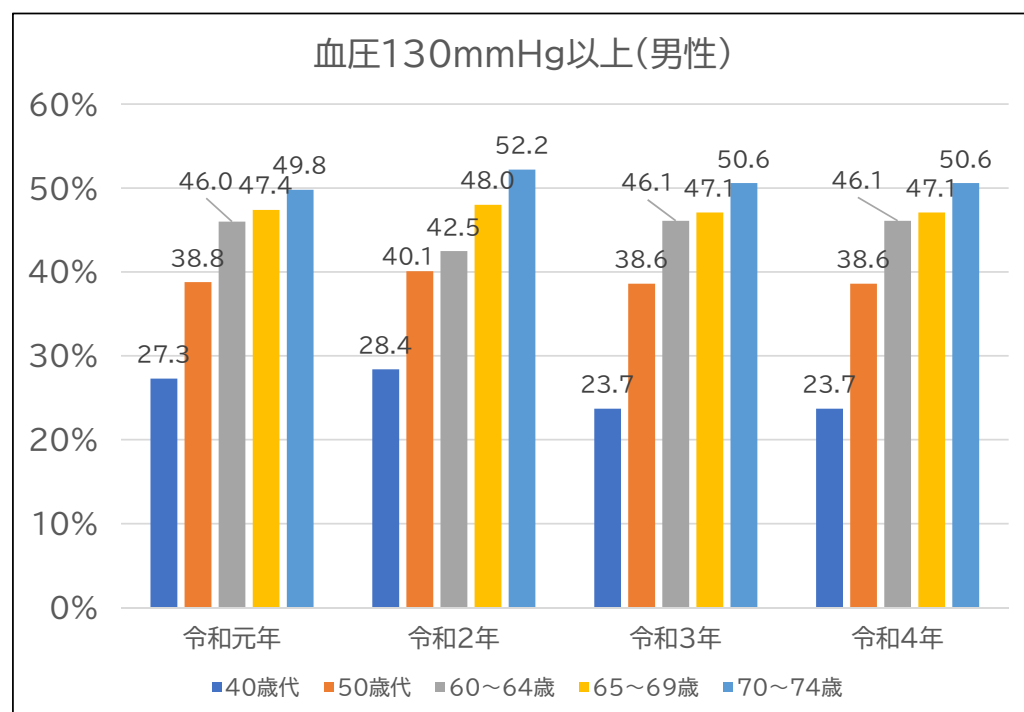
収縮期血圧130mmHg以上



- ・福島市は継続して全国や県と比較して収縮期血圧130mmHg以上の人の割合が低い。
- ・福島市では継続して男性の方が収縮期血圧130mmHg以上の人の割合が高いが5ポイント以内で大きく男女差はない。

福島市国保特定健診 有所見率 収縮期血圧

収縮期血圧130mmHg以上

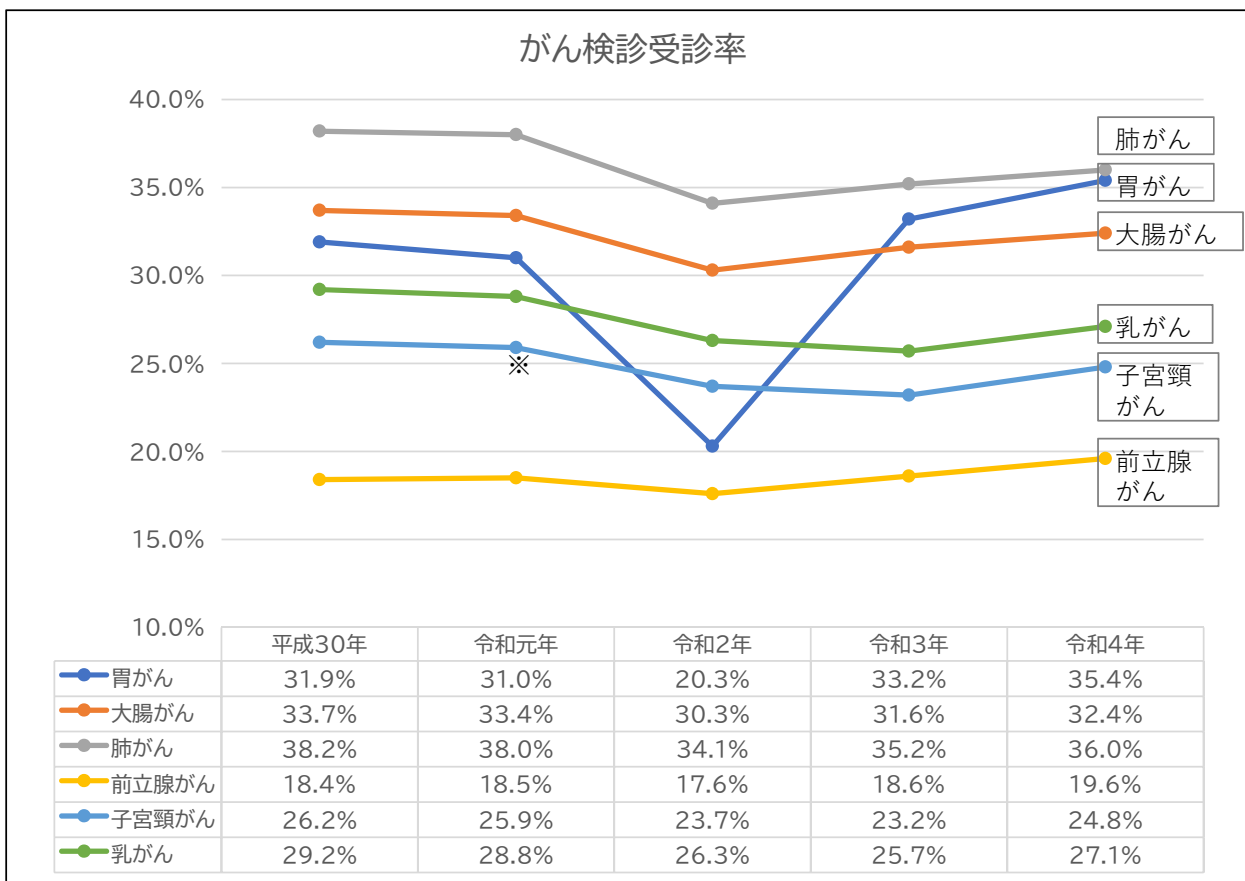


- ・男女とも年齢が上がるにつれて収縮期血圧130mmHg以上の人の割合が増加する。
- ・男女とも40歳代から50歳代にかけて収縮期血圧130mmHg以上の人の割合が大きく増加する傾向がある。

3. がん検診編

福島市のがん検診 受診率

令和5年度版



・がん検診の受診率は令和2, 3年度はコロナ禍の影響により減少したが、令和4年度には回復傾向にあるものの、厚生労働省の目標値には至っていない。

・令和2年度の胃がん検診受診率が低下している理由は、新型コロナウイルスの感染リスクを考慮し胃がん検診のみ7月より開始され、実施期間が1か月短かったことやコロナによる受診控えが影響していると考えられる。

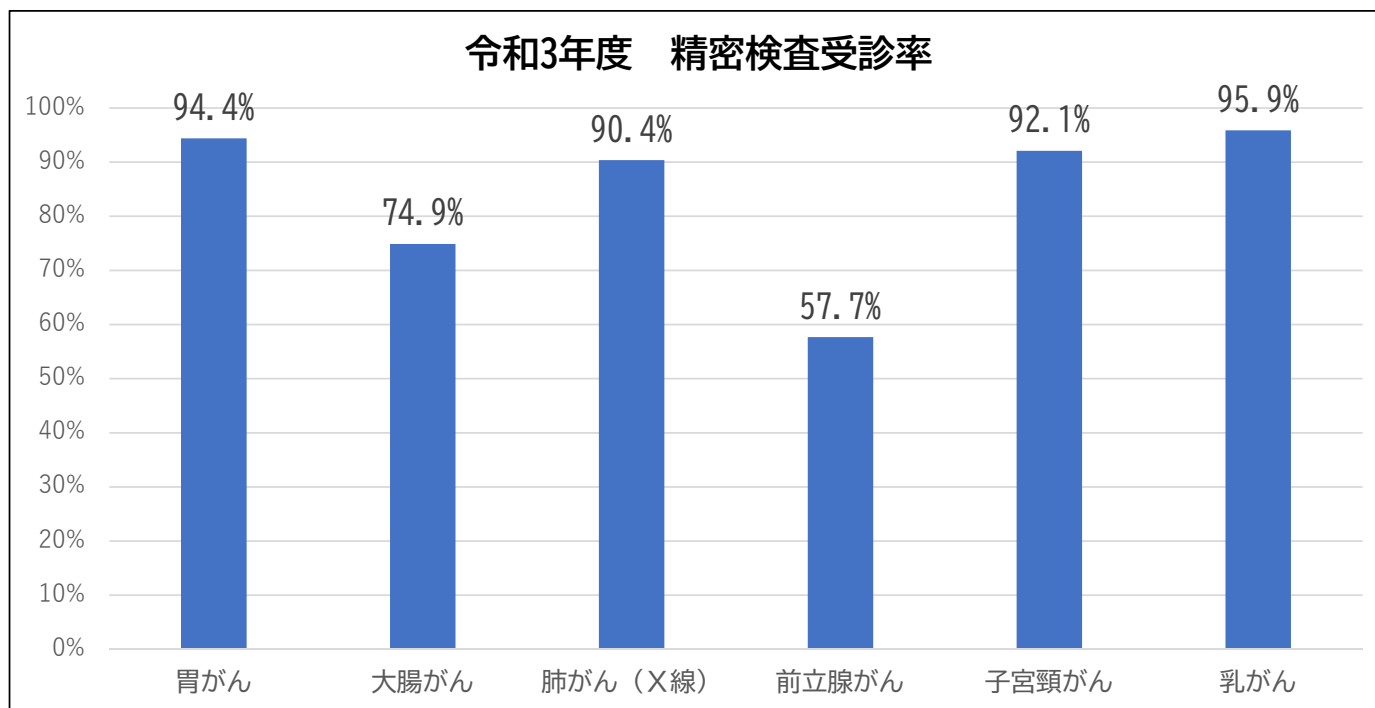
【参考】がん検診の受診率 目標 60%以上(厚生労働省)

※胃がん検診は令和2年度までは年度内40歳以上、令和3年度より年度内50歳以上原則2年に1回

資料 保健衛生事業の概要

福島市のがん検診 精密検査受診状況

令和5年度版



精密検査でがんであった者の人数

	令和3年度	
	がんであった者	精密検査受診者
胃がん	92	719
大腸がん	44	1,459
肺がん	37	968
前立腺がん	19	157
子宮頸がん	2	59
乳がん	8	142

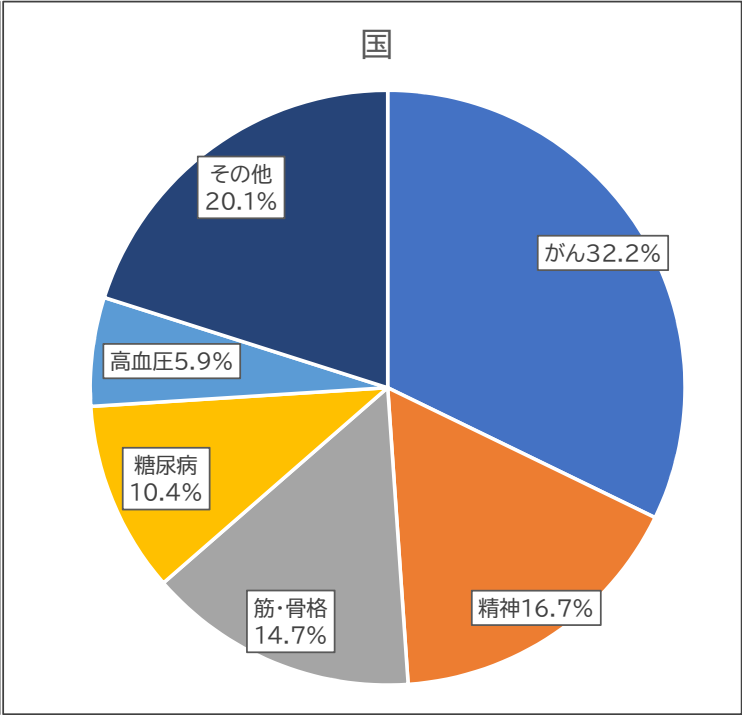
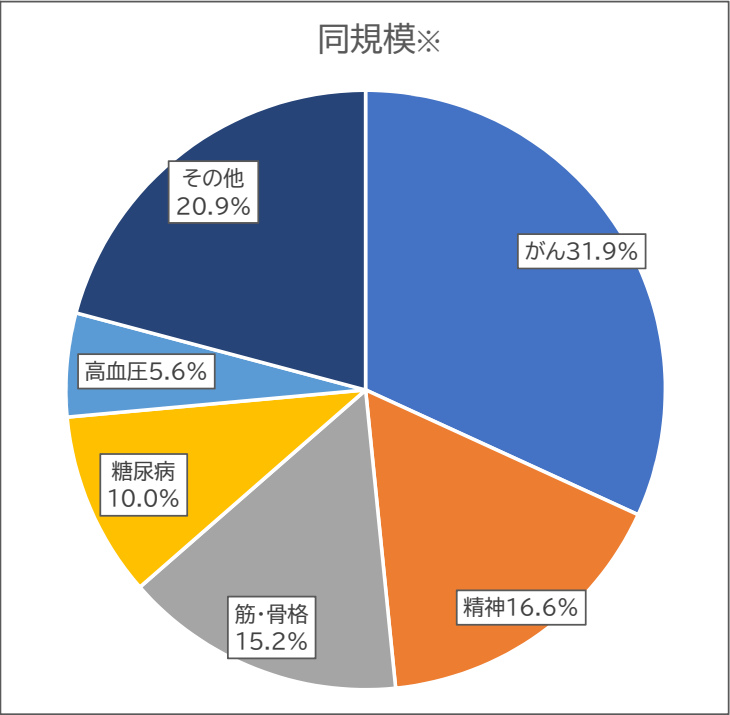
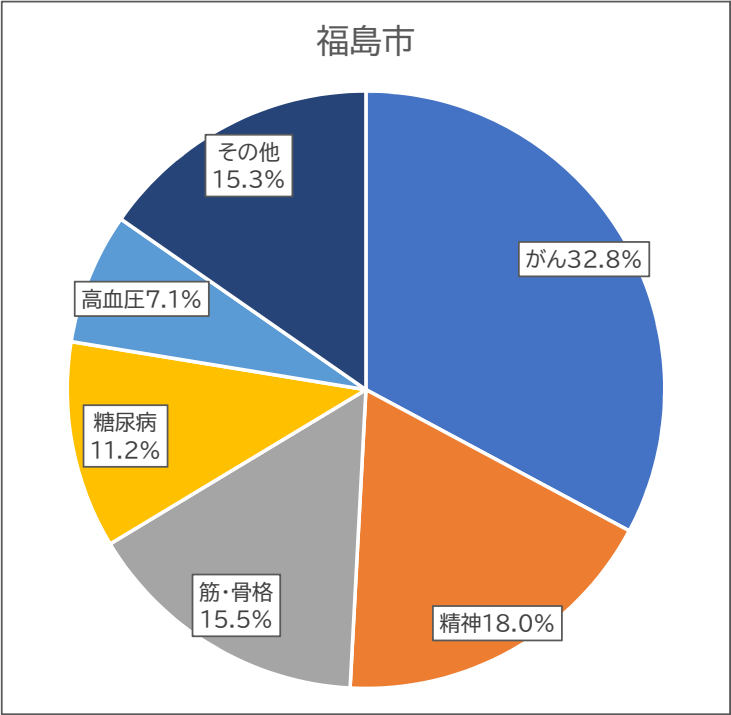
資料 保健衛生事業の概要

- ・令和3年度の精密検査受診率は、胃がん、肺がん、子宮頸がん、乳がんは90%以上の受診率であるが、大腸がん、前立腺がんは受診率が低い。
- ・精密検査受診率の目標値である100%には至っていない。

4. レセプト編

福島市国保 医療費分類

令和5年度版



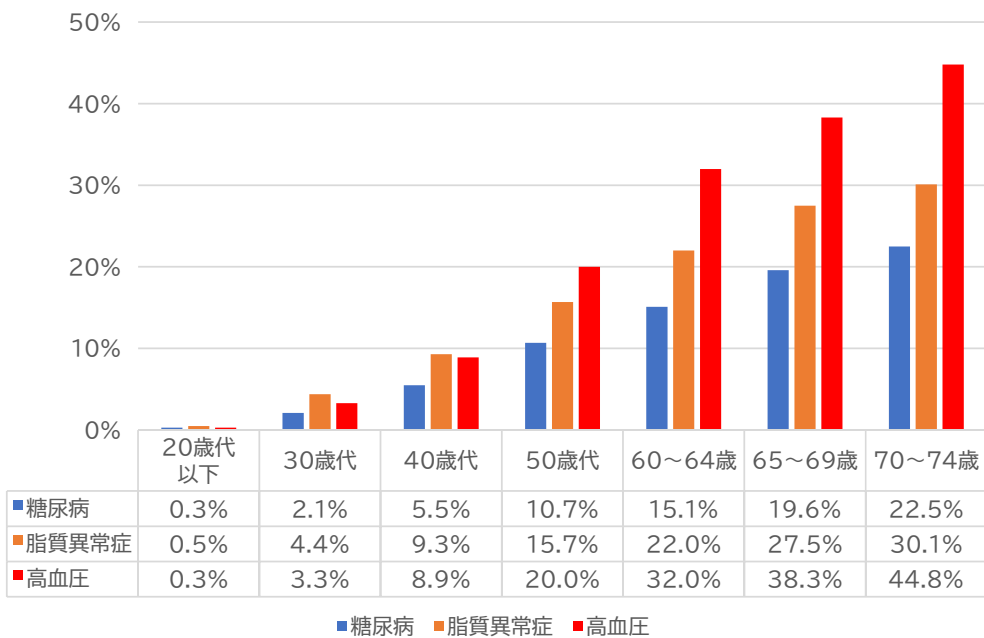
※ 人口や被保険者数をもとに保険者規模を分類した区分資料 令和4年国保データベース(KDB)システムより

福島市は同規模、国よりもがん、精神、筋・骨格、糖尿病、高血圧の医療費割合が多い状況。

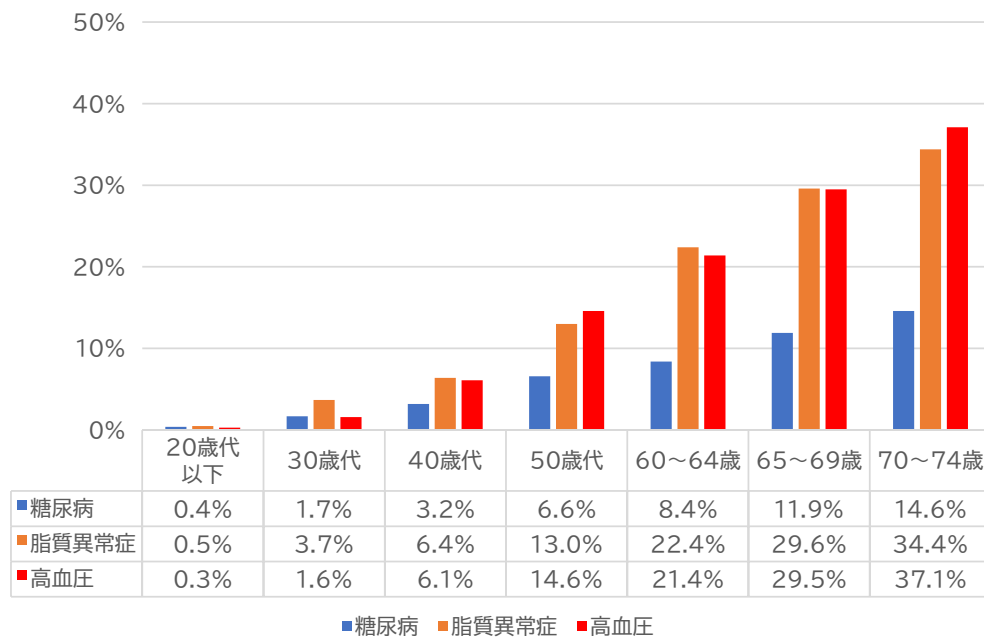
福島市国保 性別年齢別各疾病有病率

令和5年度版

男性 年齢別各疾病有病率



女性 年齢別各疾病別有病率



資料 国保データベース(KDB)システム
レセプトデータ(R5.5月請求分)より

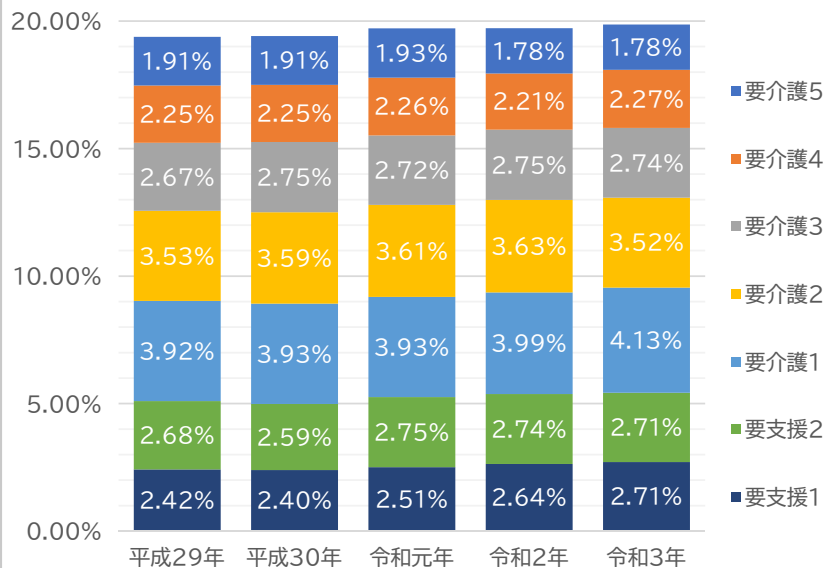
- ・高血圧、糖尿病は男性の方が高い傾向。脂質異常症は65歳以降になると女性の方が高い傾向がみられる。
- ・男性の年齢別各疾病有病率をみると、年齢が上がるごとに3疾病の有病率も高くなって。特に血圧は50代以降から高い傾向にある。
- ・女性の年齢別各疾病有病率をみると、脂質異常症、高血圧が高い傾向にある。

5. 介護保険編

福島市の要介護認定率

令和5年度版

要介護・要支援認定率(65歳以上)



要介護・要支援認定率(65歳以上 男女別)

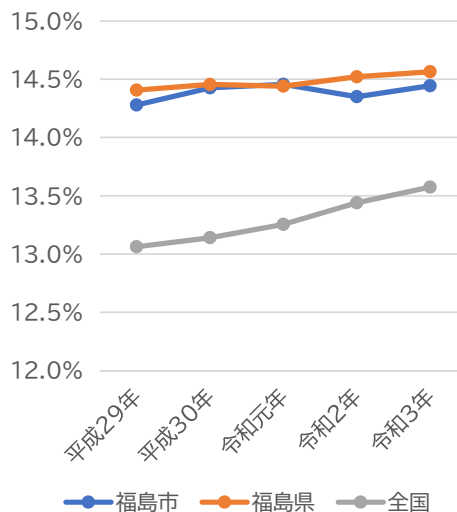
	男性	女性
要介護5	1.05%	2.27%
要介護4	1.47%	2.81%
要介護3	2.00%	3.21%
要介護2	2.71%	4.01%
要介護1	3.06%	4.79%
要支援2	1.62%	3.45%
要支援1	1.88%	3.25%

「要介護1」の割合が一番高く、「要介護5」の割合が一番低い。

女性は男性よりも2倍近く多い。

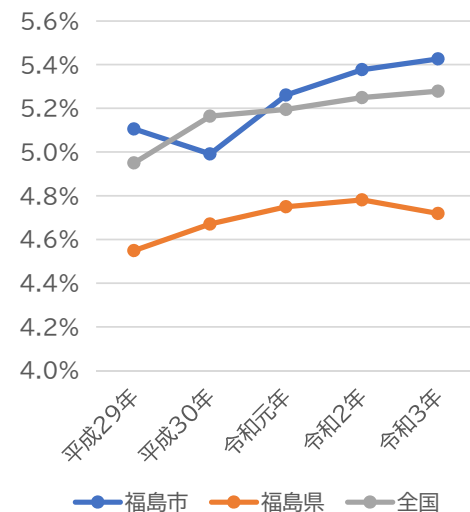
県・国比較

要介護認定率



市と県の要介護認定率は国よりも約1%高い。国は、市と県に比べると、平成29年から令和3年の上り幅が大きい。

要支援認定率



要介護認定率と違い、県が国と市よりも低くなっている。県が国よりも低いにもかかわらず、市は平成30年以外の年で国よりも高い認定率となっている。

資料<<福島市>>福島市統計書 <<福島県・全国>>介護保険事業状況報告(年報)より独自算出